

本ガイドラインは今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況や
明らかになる情報により、変更となる可能性があります。



新型コロナウイルス対策ガイドライン

第 17 版
(2023 年 3 月 8 日 更新)

sleep well よく寝る

wash your hands frequently ひんぱんに手を洗う

maintain social distancing 距離を取る
2m

cover your nose and mouth 咳のしぶきを飛ばさない
マスクを着用する mask ティッシュでかくす tissue 袖でかくす barriers

exercise 運動する

stay home when you're sick かせ気味なら休む

eat well よく食べる

use your non-dominant hand 利き手で「あちこち」さわらない

don't touch your face 目鼻口をさわらない

All we have to do to prevent infection is simple
感染予防のために、できること。

The new Coronavirus
COVID-19 新型コロナウイルス

V.LEAGUE
WE NEVER DROP THE BALL

監修：演出機構（キングス・カレッジ・ロンドン）、林 達樹（電通総合編成）、船越英（国立国際医療研究センター）、久住英二（ナビスタクリニック）、原案：鮫間興産（Bowgraphics inc.）、デザイン・イラスト：V.LEAGUE

一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

目次

0章 はじめに	4
1章 新型コロナウイルスの基本的な情報	5
1. 新型コロナウイルスとは.....	5
2. 新型コロナウイルス感染症の感染経路.....	5
3. 国内における新型コロナウイルス感染症の発生状況	6
4. 新型コロナウイルス感染症に係る世界の概況.....	6
5. 新型コロナウイルスの感染を促進する要因.....	6
6. 感染リスクが高まる5つの場面	7
7. 遵守しなければならない感染対策	9
2章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針	12
1. 基本方針	12
2. 用語の定義.....	13
3. 大会の開催方針	14
【参考】イベントの開催制限に関する政府方針	15
3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策	18
1. チーム関係者（選手・スタッフ含む）に求められる感染予防策	18
2. Vリーグ機構関係者及び大会関係スタッフに求められる感染予防策.....	23
3. Vリーグ定期検査.....	23
4. 有事の際の対応（陽性および濃厚接触疑い）	25
5. 疑い症状などへの対応	26
6. 情報の共有・発表について.....	28
4章 制限付きの試合開催について	31
1. 制限付きの試合開催の考え方	31
2. チケット販売の考え方	31
3. アリーナのゾーニングの考え方.....	34
4. 会場運営	36
5. チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について.....	42
6. 競技について.....	44
7. ファン・チームサポーターへの対応	50
8. 報道関係者・中継制作等の対応.....	52

目次

9. 試合会場の設営及び撤去	58
10. 大会前後の行動管理.....	59
5章 リモートマッチの開催について	60
1. リモートマッチの考え方	60
2. アリーナのゾーニング	60
3. 会場運営	62
4. チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について.....	64
5. 競技について.....	67
6. アリーナ外でのファン・サポーターの集結を防ぐ.....	71
7. 報道関係者・中継制作等の対応.....	72
8. 試合会場の設営及び撤去	78
6章 別紙資料・参考資料.....	79
更新履歴	84

0章 はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響下において、V.LEAGUE を開催するためには、感染拡大防止策を講じた上で試合を運営する必要があります。一般社団法人日本バレーボールリーグ機構では、新型コロナウイルス対策に関する規程と新型コロナウイルス対策ガイドラインの策定を行いました。

<参考> 新型コロナウイルス対策に関する規程（最終改定日：令和4年10月19日）

https://vleague.or.jp/files/pdf/36_coronavirus_measures20221019.pdf

本ガイドラインは、Vリーグ機構が新型コロナウイルス感染症の影響下で定款第3条の[目的]に則して事業を継続するため、また V.LEAGUE の全ての関係者、ファンの皆さまが安心・安全な状態で試合に参加・ご来場いただくために、専門家の監修を受け、対策指針を示したものです。Vリーグ機構に関わる者は、本ガイドラインと最新の情報を常に取り入れ、柔軟性を持って感染拡大対策に努めなければなりません。

大会関係者におかれましては、大会運営上、必ずしも本ガイドラインの通りの運営を行うことができないケースが出てくるかと思えます。その際には、「なぜ、このような対応が必要か」という部分をご理解いただいた上で、趣旨に沿って代替の方法をとっていただくようお願いいたします。また、運用の中でホームチームの責任下でガイドラインとは異なる対応を取らざるを得ないケースがあることも理解しておりますが、そのような場合においても、Vリーグの全ての関係者、ファンの皆さまの安心・安全を第一に考えていただいた上でのご判断をお願いいたします。

新型コロナウイルスを取り巻く社会状況の変化に対応できるよう、本ガイドラインの内容は最新の医学的知見や社会状況を踏まえ、必要に応じて更新をしております。最新のガイドラインをご確認いただき、感染拡大防止に留意した上で大会開催にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

<ガイドラインの改廃について>

- ◆ 重要な事項に関わる改正および廃止については、運営会議の発議に基づく理事会の決定によりこれを行う。
- ◆ 前項以外の改正は、専門家の監修のもと、新型コロナウイルス感染症対策室がこれを行い、速やかに関係者に周知する。

1章 新型コロナウイルスの基本的な情報

1. 新型コロナウイルスとは

「新型コロナウイルス（SARS-CoV2）」はコロナウイルスのひとつです。また、これによる感染症を COVID-19（感染症法では新型コロナウイルス感染症）と呼びます。

ウイルスは自ら増殖することはできませんが、人間の粘膜などの細胞に付着して入り込むことにより増殖します。ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことができず表面に付着するだけとされています。

参考資料

- 厚生労働省：新型コロナウイルスに関する Q&A（一般の方向け）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q2-1

2. 新型コロナウイルス感染症の感染経路

(1) エアロゾル感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）

エアロゾルとはは空気中を浮遊する微小な粒子の総称です。通常の風邪やインフルエンザのように、咳やくしゃみによりウイルスを含むエアロゾルが排出され、それを吸入することにより感染が生じます。特に新型コロナウイルス感染症では、濃厚接触状態（手が届く範囲）における“おしゃべり”でも感染が広がる可能性があることが重要です。

(2) 接触感染（手で触れることによる感染）

人が物品表面を介し新型コロナウイルスに感染することはあり得ます。しかしながら、入手可能な疫学データならびに環境感染因子に基づくと、物品表面を介した感染は、新型コロナウイルスの主要な感染経路ではなく、そのリスクは低いと考えられます。人が新型コロナウイルスに感染する最も主要な様式は、感染力のあるウイルスを運ぶ飛沫に暴露されることです。物品表面を介した感染リスクは、常に正しくマスク着用すること、手指衛生の実践によって低減できます。

参考資料

- Meyerowitz EA, et al.: Ann Intern Med. 2020 Sep 17; M20-5008. doi.org/10.7326/M20-5008.
- Harvey AP, et al.: Environ. Sci. Technol. Lett. 2020 Dec 14. <https://doi.org/10.1021/acs.estlett.0c00875>
- Lewis D: Nature. 2021 Feb 04; 590:26-28.
- Accessed Aug 23, 2021. <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/more/science-and-research/surface-transmission.html>

1章 新型コロナウイルスの基本的な情報

3. 国内における新型コロナウイルス感染症の発生状況

<参考>

厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kokunainohasseijoukyou.html#h2_1

4. 新型コロナウイルス感染症に係る世界の概況

<参考>

厚生労働省 検疫所

<https://www.forth.go.jp/topics/fragment6.html>

5. 新型コロナウイルスの感染を促進する要因

新型コロナウイルスの感染伝播が起こりやすい原因として次の3要因が重要となります。

- (1) 多くの方が集まる状況での濃厚接触（手が届く範囲での交流）

濃厚接触の定義における身体距離は、通常、“手の届く範囲”ということで理解されています。立食パーティーや対面での面談・食事なども濃厚接触になり、多数の人が多く集まる環境において感染のリスクが高まります。



- (2) 手が届く範囲での咳・くしゃみ、おしゃべり、発声

咳やくしゃみに加えて、濃厚接触状態における“おしゃべりや発声”でも感染が広がる可能性が指摘されています。故に、会話時にもマスク着用が不可欠なのです。



1章 新型コロナウイルスの基本的な情報

(3) 換気の悪い密閉空間

咳やくしゃみ、おしゃべりなどにより排出された大きな粒子（しぶき）はすぐに地面に落ちますが、小さな粒子は短時間の間、空気中を浮遊することが考えられます。空気がよどみやすい空間、閉鎖された環境では、その粒子を吸い込んで感染する危険が高まります。

6. 感染リスクが高まる5つの場面

これまでの感染拡大の経験から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。

一方で、屋外で歩いたり、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的と考えられます。

新型コロナウイルス感染症の伝播は、主に「クラスター」を介して拡大することが分かっています。

これまでのクラスター分析で得られた知見から、

- ✓ 感染リスクが高まる「5つの場面」
- ✓ 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫が新型コロナウイルス感染症対策分科会により提言としてまとめられました。

（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室）

【場面1】飲酒を伴う懇親会等

- ✓ 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ✓ 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ✓ また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。

<Vリーグチームの場合>

- ✓ チーム内/大会役員による懇親会など
- ✓ 練習時・試合時のドリンクの共用など



1 章 新型コロナウイルスの基本的な情報

【場面 2】大人数や長時間に及ぶ飲食

- ✓ 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ✓ 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



<Vリーグチームの場合>

- ✓ 選手の遠征時・日常時の食堂での飲食⇒黙飲食の徹底
- ✓ ミーティング時は飲食を伴いませんが、大人数で長時間集まることはリスクがあります

【場面 3】マスクなしでの会話

- ✓ マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ✓ マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ✓ 車やバスで移動する際の車中에서도注意が必要。

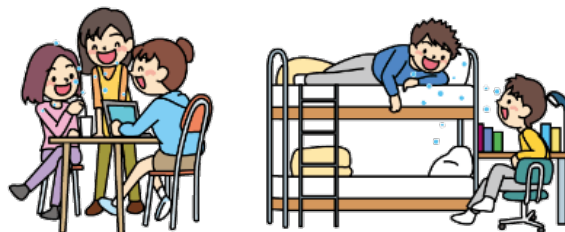


<Vリーグチームの場合>

- ✓ 練習時・ミーティング時
- ✓ 遠征の際のバス等での移動時

【場面 4】狭い空間での共同生活

- ✓ 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ✓ 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



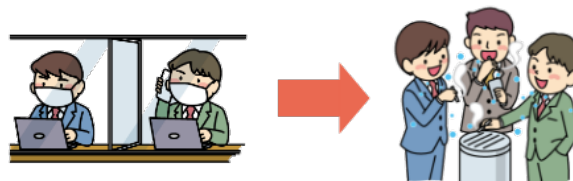
<Vリーグチームの場合>

- ✓ 寮での共同生活、クラブハウス、練習アリーナでの共有スペース、ロッカールーム
- ✓ 遠征時のホテル

1章 新型コロナウイルスの基本的な情報

【場面 5】居場所の切り替わり

- ✓ 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- ✓ 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



<Vリーグチームの場合>

- ✓ クラブハウス、練習アリーナでの共有スペース、シャワールーム
- ✓ 遠征時のホテル

7. 遵守しなければならない感染対策

互いの身体距離を適正に保つとともに、以下の感染対策を日々実践することが基本になります。

(1) 正しいマスクを正しく着用する

飛沫感染が主要な感染経路です。エアロゾル（飛沫核）感染（別名：空気感染）も条件次第では起こり得ますが、正しいマスクの正しい着用が防御効果を発揮します（着用法は次頁を参照）。

正しいマスクとは：以下の条件を満たす“不織布マスク”

- ・ 細菌濾過効率“BFE” $\geq 98\%$
 - ・ 微粒子濾過効率“PFE” $\geq 98\%$
- 医療現場で使用されているマスク（所謂、サージカルマスク）の性能レベル3に相当します

- ◆ ウレタンマスクではなく不織布マスクをご使用ください。その理由として、ウレタン素材は、吐き出す飛沫量を50%しか濾過できないばかりか（残り50%はマスクの外に飛び出す）、吸い込む飛沫量を30~40%しか濾過できないからです（残り60~70%を吸い込む）。

(2) 手洗いの励行

物品表面を介した感染（接触感染）は、主たる感染経路ではなく、そのリスクは低率ないしは稀であることが判明しています。しかしながら、手洗いは、感染症全般に対する対策の“基本中の基本”なので重要です。ほとんどの状況において、消毒ではなく石鹼や洗剤を用いて物品表面を洗浄すれば、十分に感染リスクを低減できます。物品表面を介した感染リスクは、常に正しくマスク着用すること（効用：手指が口や鼻に直接接触するのを防ぐ）、手指衛生の実践によって低減できるのです（正しい手洗いは次頁を参照）。

(3) 口・鼻・目に不用意に触れない

マスクの着用により口・鼻に触れることはなくなりますが、目にも触れないよう心掛けてください。

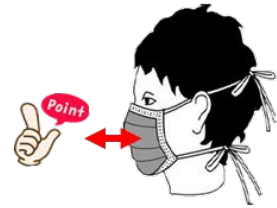
(4) 規則正しい生活とバランスの取れた食事

感染対策、全ての健康の基本となります。

1章 新型コロナウイルスの基本的な情報

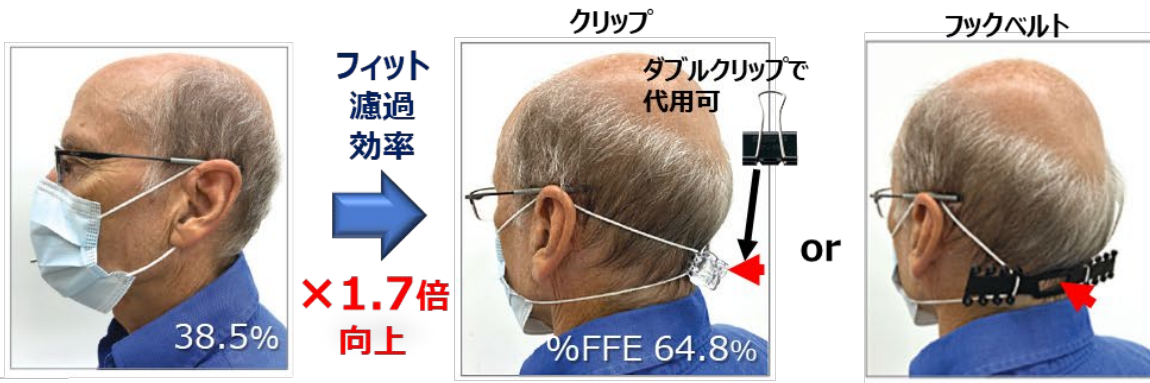
マスクの正しい着用法

- 1.鼻、口、顎を覆う（特に鼻と口の両方を確実）
- 2.可変式の鼻部分を調整して鼻梁にフィットさせる
- 3.マスク全体が頬にしっかりとフィットするよう調節して、少し深めに呼吸すると、吸気と呼気（吸ったり吐いたり）に同期してマスクの中心部が前後することを確認

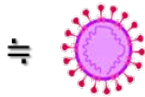


マスクの濾過効率を高める方法：空気感染予防に有効！

- マスク・ゴム紐用クリップまたはフックベルトの使用¹⁾



実験に使用したNaCl粒子飛沫核サイズ
直径 0.05µm



新型コロナウイルス粒子
直径 0.06µm

フィット・濾過効率 (fitted filtration efficiency: FFE) % =
(1 - マスク内部粒子濃度 / マスク外部粒子濃度) × 100 %

FFP参考値：N95マスク 98.4%，紐付きサージカルマスク 71.5%

- 米国疾病予防管理センター (Centers for Disease Control and Prevention: CDC) の推奨²⁾



動画YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=UANi8Cc71A0>

文献： 1. Clapp PW, et al.: JAMA Intern Med. 2021;181:32-40

2. <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/your-health/effective-masks.html>

1章 新型コロナウイルスの基本的な情報

付記

米国疾病予防管理センター（CDC）が2022年8月 / 9月にアップデートした”一般人向け COVID-19 ガイドンス“ならび”マスクと保護マスク（高機能マスク）“によると、医療従事者のみならず一般人においても”高機能マスク“の使用が推奨されるようになりました。高機能マスクとは、“微粒子捕集効率 $\geq 95\%$ ”を有する所謂“保護マスク”（e.g., N95 マスクや KN95 マスク）を指しています。欧州の規格では“FFP2 規格マスク”（微粒子捕集効率 $\geq 94\%$: e.g., KF94 マスク）も高機能マスクに該当します。日本でもこれらの高機能マスクが市販されており、容易に入手できます。

保護マスク（高機能マスク）着用を考慮すべき（適した）具体的なシーン

- COVID-19 に罹患している人を看病する時
- COVID-19 重症化リスクが高い、例えば免疫抑制状態 / 高齢者 / 特定の基礎疾患を持つ人々の場合
- 大勢の人達と交流する仕事に従事しており、特に誰もが一様にマスクを着用しているわけではない場合、例えばバスの運転手や食料品店の従業員が該当
- 飛行機 / バス / 電車 / その他の公共交通機関に乗車している時、特に混雑しており長時間の乗車になる場合
- 身体的距離を確保できない時、または屋内・屋外を問わず混雑した公共の場にいる場合
- COVID-19 ワクチン接種をアップデートしていない場合（→推奨される追加接種を受けていない場合）

文献： 1. <https://www.cdc.gov/media/releases/2022/p0811-covid-guidance.html#:~:text=%E2%8>
2. <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prevent-getting-sick/types-of-masks.html>

適正な手指衛生

流水とハンドソープによる手指消毒

- 洗面所でなければ実施できない制約があります。
- 少なくとも**15～20秒以上**かけて洗って下さい。



動画YouTube



<https://www.youtube.com/embed/Eph4Jmz244A>

アルコール・ハンドソープ・洗濯洗剤は、新型コロナウイルスのエンベロープに含まれる脂質成分を溶かし、ウイルスを不活化（死滅）させます。



ウイルス付着が危惧される衣類・タオル・ハンカチは、洗濯洗剤による洗浄で十分

2章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

1. 基本方針

Vリーグ機構に関わる全ての関係者（チーム関係者、Vリーグ機構関係者、大会運営スタッフ）は本ガイドライン及び基本方針を理解し、Vリーグ大会に関わるすべての関係者に共有することが重要となります。

- ① 政府の指針に従い感染拡大防止に協力する。
- ② Vリーグ機構事業の目的の実現は、国民の健康のもとに成り立つことを再認識し、Vリーグ機構に関わるすべての関係者は感染拡大防止に努める。
- ③ チーム関係者は常に感染防止と自己管理に努め、自身に関わる全てのチーム関係者の管理も行う。Vリーグ機構関係者、大会関係スタッフについては、当該担当者が所属する関係各社が管理を行う。
- ④ 発症・感染拡大の原因となった場合には、自身だけでなくチームメートの出場機会を奪うだけではなく、大会そのもの中止にまで発展する恐れがあります。その場合、開催地バレーボール協会やホームチーム、大会関係者、そして試合を楽しみに足を運んでくださるファンの皆さまにまで多大なるご迷惑をおかけするということを認識する必要があります。

新型コロナウイルス感染症対策は、個人防衛、集団防衛、社会防衛の3つの見地から考える必要があります。感染を100%防ぐことはできませんが、何よりも重要なのは、チーム関係者及び大会関係スタッフが、発熱・咳・倦怠感などの症状を認めたら休む勇気を持つこと、お客様も観戦にあたっては発熱・咳・倦怠感などの症状を認めた場合にはアリーナに行かないという文化を醸成することです。

日本バレーボールリーグ機構では、“選手・コーチ・監督・スタッフを守る、観客を守る、日本のスポーツ文化を守る”という視点から、新型コロナウイルス感染症に対する対策・対応を考えていくことが重要であると考えています。

2章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

2. 用語の定義

本ガイドラインでは下記の通り用語を定義する。

一斉中止	開催地域、カテゴリーに関わらず、当該期間に開催するすべてのVリーグ主催大会を中止することをいう。
限定的中止	特定のカテゴリーや特定の開催地域に限定してVリーグ機構主催大会を中止することをいう。
リモートマッチ	一般入場者の入場を禁止して、Vリーグ機構主催大会を開催することをいう。尚、報道関係者については入場を認める。
チーム関係者	選手、監督、コーチ、マネージャー、トレーナーなどの登録構成員に加えその家族など選手・スタッフと日常生活に於いて、濃厚接触する可能性のある者のことをいう。
Vリーグ機構関係者	Vリーグ機構理事・監事、事務局職員、派遣役員（JURY、Vレフェリー、オフィシャルカメラマンほか）とその家族のことをいう。
大会関係スタッフ	大会役員、外部協力社のうちVリーグ大会に関わるスタッフのことをいう。
濃厚接触	必要な感染予防策をせずに患者（確定例）に接触すること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度）においてマスクを着用せず24時間で合計15分以上接触があった場合や、患者（確定例）の気道分泌物もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者をいう。
クラスター	同一の場において、接触歴が明らかとなる5名以上の新型コロナウイルス感染者が発生する集団感染のことを指し、都道府県等の判断によりクラスター認定を受けることがある。
発症日	最初に症状（発熱、咳、だるさ、味覚異常、嗅覚異常）が観察された日のことをいう

2章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

3. 大会の開催方針

(1) 新型コロナウイルスの影響を考慮した段階的開催方針

Vリーグ機構では新型コロナウイルスの感染拡大状況に合わせて、大会開催方針として設定した4つのフェーズに基づき開催方針を決定します。

Phase	内容
Phase 1	制限なしで興行を行うことができる状況
Phase 2	制限付きの試合開催で興行を行う状況
Phase 3	リモートマッチでしか興行を行えない状況
Phase 4	大会を中止とせざるを得ない状況

(2) 大会開催方針の決定

大会開催方針については、刻々と変化する新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて次の指針に基づいて決定していきます。

- ① 政府及び自治体の方針
緊急事態宣言の発令の有無、特定警戒区域発令の有無、
都道府県をまたぐ移動の可否 など
- ② 大会開催地域及びチームホームタウンの自治体の状況
- ③ チーム関係者の状況
- ④ 他のスポーツの状況
- ⑤ 専門家からの提言や医学エビデンス

本ガイドライン発行後に、新型コロナウイルスが終息し、政府見解含めて感染拡大のリスクが無いことが確認された際には、本ガイドラインで規制した事項についても、その一部を解除します。

しかし、新型コロナウイルス感染が拡大した場合には、リモートマッチでの開催や大会の中止を決定する場合があります。（別途定める『新型コロナウイルス対策に関する規程』参照）

【参考】イベントの開催制限に関する政府方針

(令和5年2月10日：内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長 事務連絡)
 基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について
https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenraku_seigen_20230210.pdf

感染状況に応じたイベント開催制限等について

別紙1

		安全計画策定（注1）	その他 （安全計画を策定しないイベント）
下記以外の区域	人数上限(注2)	収容定員まで（注3）	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
	収容率上限(注2)	100%	
重点措置区域	人数上限(注2)	収容定員まで（注3）	5,000人
	収容率上限(注2)	100%（注4）	大声なし：100% 大声あり：50%
緊急事態措置区域	時短	原則要請なし（注5）	原則要請なし（注5）
	人数上限(注2)	10,000人 （対象者全員検査により、収容定員まで追加可） （注6）	5,000人
	収容率上限(注2)	100%（注4）	大声なし：100% 大声あり：50%

※遊園地やテーマパーク等については、都道府県知事の判断により、上記の緊急事態措置区域、重点措置区域と同様の制限を適用することも可能
 (注1) 参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベントに適用（緊急事態措置区域、重点措置区域においては、5,000人超）
 (注2) 収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度（両方の条件を満たす必要）
 (注3) 地域の実情に応じて、都道府県知事の判断により、人数上限の制限を行うことも可能とする
 (注4) 緊急事態措置区域、重点措置区域における安全計画策定イベントでは、基本的に「大声なし」の担保が前提
 (注5) 都道府県知事の判断により要請を行うことも可能
 (注6) 対象者全員検査における検査結果の陰性を確認する対象者は、定められた人数上限を超える範囲の入場者とする。都道府県の判断により、対象者全員検査の活用を行わないことも可能

◆ 「大声あり」の定義

観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発することを「大声あり」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントを「大声あり」に該当するものとする。

<大声の具体例>

- ✓ 観客間大声・長時間の会話
- ✓ スポーツイベントにおいて、反復・継続的に行われる応援歌の合唱
- ※ 得点時の一時的な歓声等は必ずしも当たらない。



2章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

イベント開催等における必要な感染防止策

別紙2

基本的な感染防止策	具体的な対策例 ※対策の例であり必須の取組ではないことに留意すること
1. イベント参加者の感染対策	
(1) 感染経路に応じた感染対策	
<p>① 飛沫感染対策</p> <p>☑ 適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底</p> <p>※ 適切なマスクの正しい着用については、厚生労働省HP「マスクの着用について」を参照。なお、屋外において、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要ないことに留意すること。</p> <p>☐ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保</p>	<p>⊖ マスクを着用しない者に対する個別注意等の具体的方法の検討・実施</p> <p>← マスクを着用しない者の退場措置の事前準備・周知（チケット購入時の約款に明記等）</p> <p>← 警備員や映像・音声によるモニタリング、個別注意や退場の徹底</p> <p>○ 入場ゲートの増設、開場時間の前倒し、時間差・分散退場の実施、密集を回避するための人員配置や動線確保等の体制構築、交通機関との連携（駅付近の混雑度データを踏まえた増便等）による誘導</p> <p>○ 密になりやすい場所での二酸化炭素濃度測定器等を活用した混雑状況の把握・管理、マーキング、誘導員等の配置による誘導</p>
<p>② エアロゾル感染対策</p> <p>☐ 機械換気による常時換気又は窓開け換気</p> <p>* 必要な換気量（一人当たり換気量30m³/時を目安）を確保するため、二酸化炭素濃度を概ね1,000ppm以下を目安（二酸化炭素濃度測定器の活用が効果的）</p> <p>* 機械換気が設置されていない場合の窓開け換気は、可能な範囲で2方向の窓開け</p> <p>* 機械換気、窓開け換気ともに、相対湿度の目安は40-70%</p> <p>* 屋外開催は除く</p> <p>☑ 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】</p> <p>☐ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】</p>	<p>○ 各施設の設備に応じた換気</p> <p>・ 施設に備わっている換気設備の確認、その仕様を踏まえた適切な換気</p> <p>・ 二酸化炭素濃度測定器による常時モニターや映像解析を活用した換気状況を確認するための手法の検討・実施</p> <p>・ 換気能力維持のための定期的な検査・メンテナンス</p> <p>⊖ マスクの着用及び距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照</p>

※取消線部分は3月13日以降のイベントにおいて適用する内容

イベント開催等における必要な感染防止策

別紙2

基本的な感染防止策	具体的な対策例 ※対策の例であり必須の取組ではないことに留意すること
(1) 感染経路に応じた感染対策	
<p>③ 接触感染対策</p> <p>☐ イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施</p> <p>☐ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】</p>	<p>○ 具体的な手洗場、アルコール等の手指消毒液の設置場所、準備個数等の検討・実施</p> <p>○ アナウンス等による手洗・手指消毒の呼びかけ</p> <p>○ 距離の確保については、①飛沫感染対策の対策例を参照</p>
(2) その他の感染対策	
<p>④ 飲食時の感染対策</p> <p>☐ 上記（1）感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用等）の周知</p>	<p>○ アナウンス等による飲食時の感染対策の呼びかけ</p> <p>○ 飲食専用エリアの設置及び当該エリアでの飲食の推奨</p> <p>○ 飲食店に求められる感染対策等を踏まえた飲食専用エリアでの感染対策（身体的距離の確保等）</p>
<p>⑤ イベント前の感染対策</p> <p>☐ 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ</p>	<p>○ 体制構築の上、検温・検査の実施</p> <p>○ 発熱等の症状がある者の参加自粛を促すことができるキャンセルポリシーの整備</p>

※取消線部分は3月13日以降のイベントにおいて適用する内容



2章 Vリーグ機構新型コロナウイルス対策の基本方針

イベント開催等における必要な感染防止策

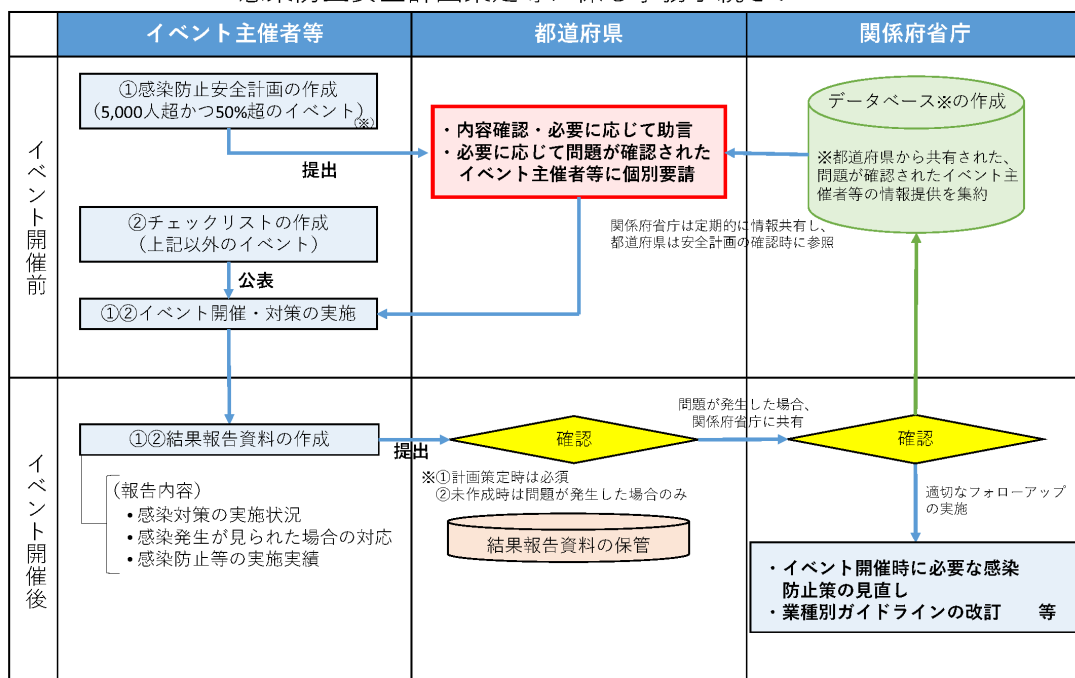
別紙2

基本的な感染防止策	具体的な対策例 ※対策の例であり必須の取組ではないことに留意すること
2. 出演者やスタッフの感染対策	
<p>⑥出演者やスタッフの感染対策</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における上記（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施 □ 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常から行う出演者やスタッフの感染対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康アプリの活用等による健康管理 ・ 出演者やスタッフの必要に応じた検査の実施 ・ 発熱等の症状がある者は出演・練習を控える ・ 練習時やその前後の活動等における適切なマスクの正しい着用、出演者やスタッフの関係者間の適切な距離確保、換気等 ○ 本番及びその前後の活動における出演者やスタッフの感染対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 控室等における換気やマスク着用の徹底、三密の回避 ・ 舞台上等でのマスク着用の有無に応じた演者間の適切な距離の確保 ・ 本番前後でのマスクの適切な着用 ○ イベント前後を含めた1.（2）④飲食時の感染対策の徹底の呼びかけ ○ ステージと観客席間の適切な距離の確保、出演者やスタッフ及び観客双方への感染対策の周知

※取消線部分は3月13日以降のイベントにおいて適用する内容

感染防止安全計画策定等に係る事務手続きフロー

別紙3



(※) 緊急事態措置区域やまん延防止等重点措置区域においては5,000人超のイベント

<参考：新型コロナウイルス感染症対策に関する最新情報>

- 新型コロナウイルス感染症対策推進室（内閣官房）

<https://corona.go.jp/news>



3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

1. チーム関係者（選手・スタッフ含む）に求められる感染予防策

(1) 新型コロナ対策責任者の任命

選手及びチーム関係者特有の新型コロナウイルス感染リスク要因として以下の事項があげられます

- ✓ 人ごみの中でのファンサービス
- ✓ 過酷なトレーニングと緊張
- ✓ 食事、体重、スケジュールなどの管理
- ✓ 集団での移動（飛行機、バスなど）

チーム関係者の皆さまは一般の方以上に新型コロナウイルスへの感染リスクがあることを自覚いただき、感染防止に努めてください。

各チームはチーム内での新型コロナウイルス感染拡大を防止するために、新型コロナウイルス対策責任者（1名以下、対策責任者と表記）を任命してください。対策責任者はチームドクターやトレーナーと連携して、チーム内の感染拡大予防に努めてください。対策責任者の名前はリーグに届け出てください。

(2) 医療機関との日常的なコミュニケーション

チームはチーム関係者に不測の事態の際の相談窓口となっていたり、日常的に医療機関とのコミュニケーションを図っていただき、新型コロナウイルスの疑いが出た際に適切な助言や相談ができる環境を予め整えておいてください。

(3) 健康状態のモニタリングと感染拡大予防

① 毎日の健康チェックと行動記録

対策責任者はVリーグ登録選手及びスタッフの毎日の健康チェックと行動記録を必ず実施してください。

行動記録のモニタリングは、万が一、チーム内で感染者・濃厚接触者が発生した際にどの範囲で隔離を行うかの判断を行う上で重要な資料となります。必ず実施してください。（自己管理用の健康チェックシートは別紙資料を参照ください）

体温測定	起床直後・就寝前など決まった時間での体温測定
問診表チェック	発熱・咳・咽頭痛・だるさ・倦怠感・食欲低下・味覚障害・嗅覚障害の有無
行動記録	買い物・食事・トレーニング等に出向いた場所・同行者などの記録

② 手指衛生の励行

感染症全般の予防策として、適切な手指衛生を参照して正しく実践してください（手洗い、手指消毒の方法は対策責任者が指導していただくようお願いいたします）。

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

③ できるだけ人ごみを避ける

可能な限り人混みを避け、外出の際には必ず正しくマスクを着用してください。

(4) チーム練習場・クラブハウス・寮などでの感染予防策

対策責任者は医療機関の指示のもとトレーナーやドクターとも連携し、練習場、クラブハウス、アリーナなど、チーム関係者が主に使用する施設の感染拡大予防に努めてください。

① 施設の空調・換気状態の把握と可能な対策

- アリーナや諸室の空調・換気の状態の把握と給気能力の増強や加湿
(乾燥する場面では、湿度 40%以上を目安に加湿することを推奨)
- 空気のおよびみを最小限とするよう換気・空調システムの見直し
- 窓を開けるなど定期的な空気の入替
- 必要に応じ、CO2 測定装置を設置する等により、換気状況を常時モニターし二酸化炭素濃度 1000ppm 以下を維持することも望ましい。(※機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。)

② 手指消毒液の設置 (必要に応じて)

- 練習場の入口及び諸室へ設置する。
- クラブハウス、寮などの共有スペース及びトイレ等への設置
- マスクや手袋を脱いだ後は、手指衛生 (手洗いまたはアルコール消毒) を行ってください。

③ ロッカー室・シャワー室、ベンチ・トイレなどでの濃厚接触の回避

- ロッカー室・シャワー室等の使用は時間差利用、可能な限り 1.5~2m 以上のヒト-ヒト間隔がとれるよう配慮するなどの空間遮断などを行った上で使用する。
- 感染リスクを下げるため、チームを守るために、ポジションが同じ選手が可能な限り行動を共にしないなどの工夫は有効となる可能性がある。
- タオルなどのリネンの共用は避ける。

④ 練習前後のミーティング

- WEB ミーティングで行い、対面での実施を避けることを推奨する。
- 対面で実施する場合は、短時間で実施。屋外や換気のいい場所で行い、身体的距離 (フィジカルディスタンス/以下、「身体的距離」と表記) をとる。
- 会話を伴う場合はマスクを着用し、マスクを外した状態で会話しない。

⑤ 選手の治療およびマッサージ

- トレーナーはマスク着用・手指衛生 (手洗いでも可、手袋不要) の予防策をとった上で対応する。
- 被施術者もマスク着用・手指衛生を行う。
- 外傷処置を行う場合は手指アルコール消毒・マスク/手袋着用 (自身を守る) を実施し対応する。

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

⑥ ジムの使用

- 身体的距離（できるだけ2m、最低1m）を確保する。
- 身体接触を伴う、または対面での補助は行わない。

⑦ ボール等用具の消毒（必要に応じて）

- ボールや使用した用具は必要に応じて消毒を行ってください。

⑧ 取材対応

リーグ開幕前から制限付きの試合開催の期間に、チーム練習場等の試合会場以外で報道関係者による取材を認める場合、下記の対応を行ってください。テレビ局等の報道関係者が指定した場所で取材が行われる場合は、報道関係者と調整し対応を行っていただくよう努めてください。

- 入館時には手指の消毒を行い、常時マスクを着用する。
- 選手・チームスタッフと、報道関係者の動線を分ける。
- オンライン取材を推奨、または取材場所をアリーナ等の広い場所に限定し、常に身体的距離（2m、最低でも1m）をとる。
- 取材者とその家族・同居者が、直近14日間に新型コロナウイルス感染症の疑い症状（発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚や嗅覚の異常）を起こしていないことについての宣誓と、緊急時の連絡先を記載した書面を提出いただく。
- 選手との接触前に体温を測定し、37.5度以上の場合（37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む）は退去していただく。

⑨ ゴミなどの廃棄について

- 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛ってください。
- ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(5) チームの移動及び宿泊

遠征時のチームの移動及び宿泊については、各チームの事情を勘案し、チームに対応をお任せすることになりますが、可能な限り以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。

① 航空機及び新幹線での移動

- 航空機も新幹線も定期的に空気が入れ替わる仕組みとなっており、換気のよい空間になります。但し、マスクは必ず着用してください。

<参考>

- 全日本空輸株式会社 ANA care Promise
<https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/coronavirus-travel-information/>
- JR 東海「新型コロナウイルス感染症に対する取り組み」
https://jr-central.co.jp/notice/detail/_pdf/000040501.pdf

② バスによる長距離移動

a) バス会社への事前の依頼事項

- 運転手の体調管理及び正しいマスクの正しい着用

b) その他の注意事項

- バス内では正しいマスクを正しく着用してください。
- 窓を開けるなど、適切な換気を行ってください。
- サービスエリアでの休憩時もマスクを着用し、感染予防を行ってください。
- 大声や長時間の会話を控えてください。
- 可能な限り、隣同士での座席の使用を避けてください。

③ 移動中の食事

- 感染及び濃厚接触を防ぐため、移動中の食事は避けてください。
- 移動中に食事をとらざるを得ない場合は、感染防止に十分配慮してください。
 - ✓ 車内での距離をできるだけ確保し、対面では座らない。
 - ✓ 車内の換気に留意する。
 - ✓ 食事をする者以外はマスクを着用する。
 - ✓ 食事の直前に手指衛生を行う。

④ 遠征時の宿泊について

a) 宿泊施設での注意事項

- 自室以外では正しいマスクを正しく着用してください。
- 部屋割りは原則、一人一部屋としてください。
- 部屋の換気を心がけてください。

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

b) マッサージルームでの注意事項

- 室内では混雑させないように留意してください。また、換気をよくしてください。
- 順番が来るまで室内に立ち入らないようにしてください。
- 正しいマスクを正しく着用して、感染予防を徹底してください。
- トレーナーはマスク、手指消毒などの予防策をとって対応してください。

c) 食事会場

- 食事中は黙飲食を徹底し、会話時は必ずマスクを着用してください。
- 向かい合わせの配席は不可です。向かい合わせになってしまう場合は、1.5m～2mの距離を空けてください。

d) ミーティングルームの利用

- 必要に応じて（例え感染者が急増している時期など）、WEB 会議形式を選択してください。
- 対面で実施する場合は、全員が正しいマスクを正しく着用するとともに、部屋の換気に留意してください（二酸化炭素濃度測定器にてモニタリングし、1000ppm 以下が維持できていることを確認：超えた場合、ドア・窓等を開放し十分に換気を行う）。監督、コーチ選手が身体的距離（2m、最低 1m）をとって着席してください。

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

2. Vリーグ機構関係者及び大会関係スタッフに求められる感染予防策

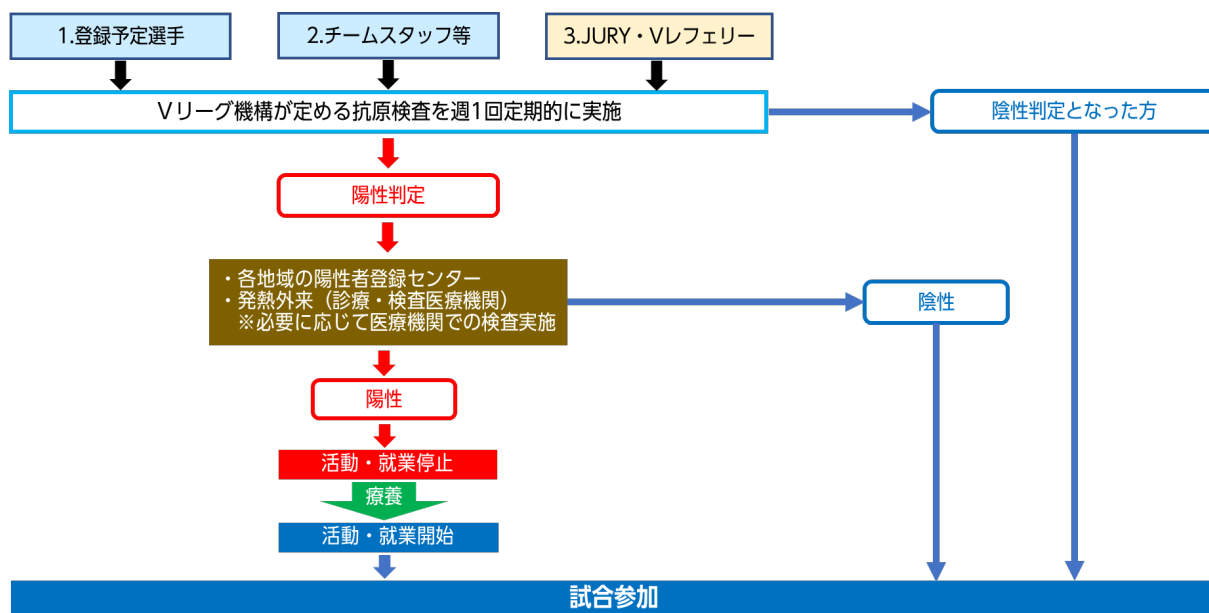
Vリーグ機構関係者及び大会関係スタッフに求められる感染予防策はチーム関係者に求められる感染予防策と同様です。特に、Vリーグ機構関係者及び大会関係スタッフの方々は、それぞれ、職場も異なることから高い意識を持って、自己防衛していただくことが求められます。また、日常的によく接する方、特にご家族の方には皆さんと同様の感染予防策を講じていただくことが重要となります。

3. Vリーグ定期検査

- (1) 新型コロナウイルス対策に関する規程第8条第4項に基づき、週1回の抗原定性検査を実施します。
 - ① 検査の目的
 - ✓ 各チームでの感染者発生を可能な限り予防し、選手のコンディションを守ること
 - ✓ 感染拡大により試合中止となるリスクを低減させ、ファンの皆様へ試合をお届けすること
 - ② 検査の対象者は次のとおりとし、検査で陰性を確認した者のみが試合に参加可能となります。
 - ✓ Vリーグ機構登録構成員（選手・スタッフ）
 - ✓ 派遣役員（JURY、Vレフェリー）
 - ③ 検査スケジュール及び検査実施に関する詳細な運用は、別途Vリーグ機構よりチームへ通達します。
 - ④ 社会全体の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、定期検査を中断する場合があります。
 - ⑤ チーム内で陽性者が発生した場合や、試合の直前に感染の可能性がある者が発生した場合を対象に、定期検査に追加して臨時検査を実施する場合があります。臨時検査は、別途定める「臨時検査概要」に定める手続きにより実施することとします。

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(2) 定期検査の結果を受けての対応フロー



① 検査の結果が陽性となった場合のチーム関係者の初動

- ✓ 速やかに本人をチームから隔離してください。
- ✓ 各地域の自主検査等で陽性疑いとなった方向けの案内に従ってください。
- ✓ 発生届の対象となる方は、発熱外来（診療・検査医療機関）で診療を受ける等の対応をしてください。
- ✓ 発生届の対象とならない方は、各地域の陽性者登録センターへ登録申請を行う等の対応をしてください。
- ✓ 対応に迷う場合は、チームドクターや各地域の「受診・相談センター」などに相談を行ってください。
- ※ 各地域の「受診・相談センター」等の受付時間、電話番号等は事前に確認しておくこと。
- ※ 休日・夜間等の対応においても、電話番号等を確認しておくこと

② Vリーグ機構等への報告

- ✓ 検査の結果が陽性となった場合は、速やかにVリーグ機構に報告してください。
- ✓ 前後1週間の対戦相手チームにも速やかに状況を共有してください。

③ 医療機関等の診療において陽性の確定診断をされた場合

- ✓ 陽性者本人 → 所管の自治体や医療機関等の指示に従って療養する。
- ✓ その他の選手及びチーム関係者 → 「濃厚接触疑いの基準」をもと、濃厚接触疑い者を自主隔離とする。（待機期間及び待機解除は濃厚接触者と同様とする）

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

4. 有事の際の対応（陽性および濃厚接触疑い）

(1) 新型コロナウイルス感染症に対する医療について

<参考>

厚生労働省「症状がある場合の相談や新型コロナウイルス感染症に対する医療について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_ga_00001.html

(2) 陽性判定時の対応（例）

① 初動

感染者を隔離する

✓ 医師による確定診断前の段階でも、検査で陽性判定が出た者は、感染者として処遇する

チーム内で情報共有を行う

本人及びチーム関係者の行動記録を整理し、本人との接触有無を両方向から確認する

担当医から保健所への届け出または各地域で指定された方法による届け出を行う

② Vリーグ機構及び前後1週間の対戦相手チームへ速やかに状況を共有する

③ 感染者の治療

遠征先で陽性判定または症状が出た場合、ホームチームは可能な限り協力する

④ 濃厚接触者の指定：担当医の指示ならびに以下(3)の基準に従う。

濃厚接触者は自主隔離する。

⑤ スクリーニング検査

陽性者が発生した場合、チーム内に感染が広がっていないかを確認する検査で、PCR検査、抗原定量検査、抗原定性検査（鼻腔ぬぐい）のいずれかを用いることが望ましい

実施にかかる費用はクラブ負担とする

自主スクリーニング検査を実施した場合も、濃厚接触者の特定への協力を行う

「濃厚接触疑いの基準」をもと、濃厚接触疑い者を自主隔離とする（待機期間及び待機解除は濃厚接触者と同様とする）

⑥ 必要に応じてチームのステークホルダーへの連絡を行う

⑦ 感染防止体制の再チェック：専門家の指導を受ける

(3) 濃厚接触者疑いの基準

陽性者（陽性疑い者）の発症日（無症状の場合は検体採取日）の3日前以降に、以下に該当する者は濃厚接触者疑いとして扱う。

a) 陽性者（陽性疑い者）と1m以内の距離において、正しくマスクを着用せず24時間で合計15分以上会話した者

b) 陽性者（陽性疑い者）と日常的に接触している者

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

<例>

同居家族、寮で同室の方、通訳とその担当選手、マスクの着用など必要な対策をせずに処置をしたトレーナー等

c) 陽性者（陽性疑い者）と十分な対策をせずに飲食を共にした者

（十分な対策とは、距離の確保やパーティション等による席の区切り、食事時間、黙食、手指消毒をいう）

d) 陽性者（陽性疑い者）と十分な対策をせずに自動車等での移動を共にした者（十分な対策とは、マスクの着用、換気、距離の確保やパーティション等による席の区切りをいう）

(4) 陽性判定からの復帰

<参考>

厚生労働省「新型コロナウイルス感染症 陽性だった場合の療養解除について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_ga_00001.html

(5) 濃厚接触（濃厚接触疑いを含む）として指定されなかったチーム関係者の対応

定期検査に追加して臨時検査を実施し、陰性が確認された者はチーム活動（試合参加）を継続することを認める。

5. 疑い症状などへの対応

(1) 試合直前事案

事例	対応
<ul style="list-style-type: none"> ● 発熱等の疑い症状が発生した (咽頭痛、発熱、咳、倦怠感、下痢など) 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 安全のため本人をチームから隔離する 2) 本人は医療機関等で追加的な検査の実施を検討する 3) 本人と濃厚接触者を除き、臨時検査での陰性が確認できた者で試合を実施する
<ul style="list-style-type: none"> ● 同居家族等の身近な方が陽性となった ● 数日前に会食した人が陽性となった ● 同居家族等の身近な方が濃厚接触者となった ● 同居家族等の身近な方の体調不良が判明した 	<p>(3) 同居家族等の身近な方との関係 へ</p>

※大会前日の夜や当日の朝などに発生した場合を想定

※陽性疑いの症状の該非の判断にあたっては、チームドクターやかかりつけ医の判断を仰ぐこととする

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(2) 選手・チームスタッフに直接関わる事案

事例	対応
選手・チームスタッフにチーム独自のスクリーニング検査を実施した	陽性判定の場合、速やかにチームから隔離し医療機関等を受診する（定期検査の陽性時と同様）
選手・チームスタッフが体調不良で検査を受ける	検査結果が出るまで本人は自主隔離とする 陰性の場合、活動の継続を認める
選手・チームスタッフが体調不良となるも、医師（チームドクターやかかりつけ医）が明らかに新型コロナウイルス感染症ではないと判断した	症状解消を確認し、復帰する
選手・チームスタッフが濃厚接触者に判定された	所管の自治体の指示に従う

(3) 同居家族等の身近な方との関係

事例	
<ul style="list-style-type: none"> ●同居家族等の身近な方が陽性となった ●数日前に会食した人が陽性となった 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 濃厚接触疑いにあたるかを判断するため、本人の行動履歴を確認する 2) 濃厚接触疑いに該当する場合は自主隔離 3) 濃厚接触疑いに該当せず、症状がない場合は、抗原定性検査での陰性を確認し、活動の継続を認めるが、他のチーム関係者との接触を限定的にすることや高機能マスク(P.11)の着用など、安全サイドでの行動を心がける
●同居家族等の身近な方が濃厚接触者となった	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本人は濃厚接触指定を受けていないため、活動の継続を認める 2) ただし、2日前以降に顕著な接触がある場合は、安全サイドで慎重に判断する
●同居家族等の身近な方の体調不良が判明した	<ol style="list-style-type: none"> 1) 同居家族等に新型コロナウイルス感染が疑われる症状が発生した場合、同居家族等の医療機関での診断が確定するまでの間は、本人は試合参加にあたって臨時検査で陰性を確認する 2) 臨時検査で陰性を確認した場合も、同居家族等の医療機関での診断が確定し、陽性でないことが明らかになるまでは、他のチーム関係者との接触を限定的にすることや高機能マスク(P.11)の着用など、安全サイドでの行動を心がける

6. 情報の共有・発表について

(1) 円滑な情報連携のために

「新型コロナウイルス対策に関する規程」に従い、チーム関係者に新型コロナウイルス陽性者が発生した場合、当該チームはVリーグ機構事務局に報告するとともに、前後1週間の対戦相手チームに速やかに状況を共有してください。新型コロナウイルスを疑う有症状者が発生した場合も同様とします。

(2) 情報開示にあたって

① 感染症法が要請する情報開示

新型コロナウイルスは感染症法に定める指定感染症です。情報の公表にあたっては、個人情報の保護に留意しなければならないものとなります。

② 感染を公表する場合

個人名は原則非公開とする。感染者本人に公開の意思がある場合、これを尊重する（公開してもよい）が、その場合も、家族・関係者などがいわれのない扱いを受けたりするなど、多大な影響が及ぶ可能性なども十分考慮した上で、慎重に判断してください。

匿名での発表でも十分に社会的責任を果たすことはできます。

③ 情報共有と発表について（『新型コロナウイルス対策に関する規程』に準ずる）

<Vリーグチーム登録選手・スタッフに陽性者が発生した際の方針>

速やかにVリーグ機構事務局に報告する。Vリーグ機構事務局は濃厚接触者に該当する者の有無を調査し、関係者に事実の報告を行う。（但し、その情報は機密情報として取り扱い、第三者には公表しない。）

公表の有無は当該チームが判断を行う。その場合でも、氏名は原則、非公表とする。

<Vリーグ機構理事・監事、事務局職員、派遣役員に陽性者が発生した際の方針>

速やかにVリーグ機構事務局に報告する。Vリーグ機構事務局は濃厚接触者に該当する者の有無を調査し、関係者に事実の報告を行う。（但し、その情報は機密情報として取り扱い第三者には公表しない。）

公表は原則、行わない。

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(3) 感染に関する発表の例

本日、(チーム名) 所属の選手 (20 代) が、新型コロナウイルス感染症の PCR 検査で陽性判定を受けましたので、下記にお知らせいたします。

- ・ 2020 年 9 月 25 日に PCR 検査を受けたところ、新型コロナウイルス陽性と確認されました。
- ・ 本人には微熱はあるものの大事には至っておらず、隔離の上、体調回復に努めております。また、チーム内にかぜ症状などを示している者はありません。
- ・ ただいま、濃厚接触者のリストアップを行っております。発症日 (9 月 20 日) の 2 日前から接触が対象と伺い、9 月 18 日、19 日の練習に参加した全員を、10 月 2 日まで自宅隔離しました。
- ・ 念のため、当チームより濃厚接触者の家族・同居人にも自主隔離をお願いしております。
- ・ 当チームは日頃より、感染拡大防止に取り組んでおりましたが、今後いっそう引き締めて安全確保に努めてまいります所存です。

【発症日 2 日前からの行動】

9 月 18 日 (金)	練習参加。体温 36.5 度。午後から夜は家族と過ごす
9 月 19 日 (土)	練習参加。体温 36.5 度。午後から夜は家族と過ごす
9 月 20 日 (日)	練習参加。夕方、発熱、38.2 度、倦怠感あり【発症】
9 月 21 日 (月)	自主隔離開始。体温、38.7 度、味覚異常あり
9 月 22 日 (火)	医療機関である●●病院を受診、経過観察
9 月 23 日 (水)	体温 38.5 度
9 月 24 日 (木)	帰国者・接触者センターに相談し帰国者・接触者外来を受診。 PCR 検査を受診
9 月 25 日 (金)	PCR 検査の陽性判定、入院治療

なお、Vリーグはプライバシー及び人権保護の観点から、個人名の公開は原則として差し控えております。但し、当該者の意思は尊重します。どうぞ、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

3章 Vリーグに関わる皆さまに求められる感染予防策

(4) 発表内容チェックシート

属性	チームとの関係及び立場
経過・症状	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発症日、初期症状（発熱/咳/倦怠感/味覚嗅覚障害/咽頭痛/胸痛など） ・ 医療機関に受診した場合は順に「医療機関 A」「医療機関 B」とする ※匿名可 ・ 医療機関初見（肺炎初見の有無など） ・ PCR 検査受診日・陽性判定日 ・ 現在の容体 ・ 現在の隔離状況（入院・自宅隔離など）
行動履歴	発症日2日前～発表日までの行動履歴（練習参加等）
感染経路	判明している事項
関係者の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ チーム関係者に症状のあるものの有無 ・ 濃厚接触者・疑い者の取扱い ・ チームの活動状況など
今後について	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームとしての感染拡大への取り組み ・ 活動停止スケジュールなど

4章 制限付きの試合開催について

1. 制限付きの試合開催の考え方

適切な感染防止策を講じた上で、有観客での試合を開催します。入場者数の制限は、政府または都道府県が指定する感染防止策等を実施することにより、収容率の上限を100%といたします。

- ※ 各ホームチームは開催条件について、予め開催地の自治体に了解を得ること。
- ※ 入場者数が5,000人を超える場合は、以下の通知内容に従い、安全計画を策定し、都道府県による確認を受けること。5,000人以下の場合も、都道府県が指定するチェックリストの作成を行うこと。
(令和5年2月10日：内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室長 事務連絡)
基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について
https://corona.go.jp/package/assets/pdf/jimurenraku_seigen_20230210.pdf

2. チケット販売の考え方

各ホームゲームでチケット販売及び席割を検討するにあたっては、次の事項を念頭に検討してください。

- 【1】会場への入退場時及び座席に於いて「密集」「密接」「密閉」を作り出さない
- 【2】新型コロナウイルスの影響により入場者制限の方針が変更になることがある

この考え方から、席割及びチケット販売については下記の推奨事項を参考に計画いただくようお願いします。

【推奨事項】		
No.	項目	備考
1	着席不可の席には席にその旨を記載する	上記【1】
2	入場者の座席位置と個人情報の把握	
3	Vチケもしくはプレイガイドでの販売	チケット購入時の購入者情報（氏名・連絡先）の把握は任意とし、窓口販売も可能とする。
4	席種ごとに入場・退場可能時間を変更すること等により待機列の解消に努める	上記【1】、待機列の解消

4章 制限付きの試合開催について

5	当日券販売はオンラインでの販売とする	上記【1】 チケット購入時の購入者情報（氏名・連絡先）の把握は任意とし、会場での販売も可能とする。
6	チケットの販売開始は開催日の1~2週間前からの販売とする	上記【2】、払戻等のリスク回避のため リーグ一律での販売開始時期は定めないが、払戻リスク等も考慮し各チームで設定。
7	チケットは1興行ごとに販売する（シーズンチケットは販売しない）	上記【2】、払戻等のリスク回避のため
8	全席種Vチケでの販売とし、電子チケット発券とする	チケットもぎり時の接触の回避、
9	※収容率50%で開催する場合 客席同士の間隔を空ける	上記【1】 最低1席分、可能な限り1メートルの間隔を空ける。（次頁参照）

- ※ 立ち見席を設定することも認めるが、観戦位置を限定し、自由席同様の運用とする。但し、消防法に準じて設定すること。また、自治体および施設の了解を得ること。
- ※ 37.5度以上の発熱がある場合（37.5未満でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む）は入場をお断りすること、その際にチケット料金の払い戻しは行わないことを周知すること。自粛等により会場へご来場されない場合も同様の対応とする。

4章 制限付きの試合開催について

【2022-23 V.LEAGUE に向けた主な更新事項】

① 自由席の設定

自由席の設定を可能とする。但し、設定する場合は以下の点に留意すること。

- ✓ 一度着席した座席から別の座席への移動は禁止とする
- ✓ お客様に着席した座席情報を記録いただく
- ✓ 待機列形成による密の発生がないようにアナウンスを行う

② チケット購入可能枚数上限

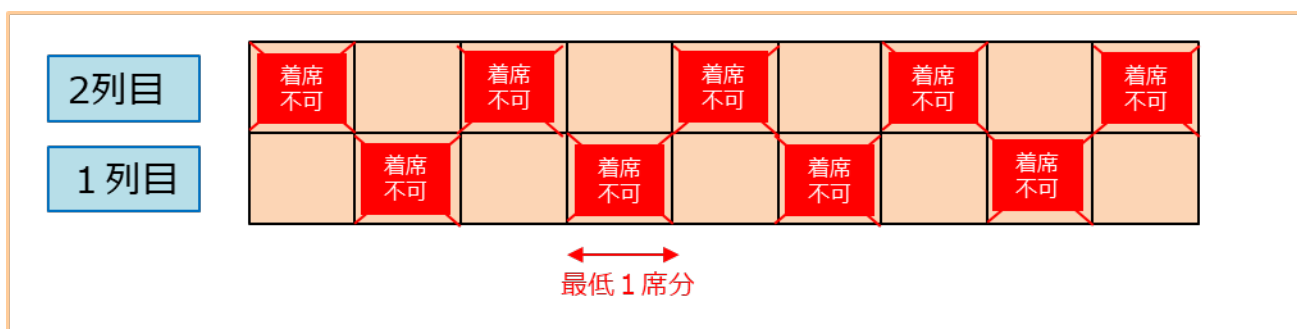
1人あたりの購入可能枚数をホームチーム判断で決定できるものとする。（上限5枚→最大12枚）
但し、転売防止の観点からも上限枚数の検討をすること。

③ 座席設置の可能な範囲

観客席の設置は、コート内（フリーゾーンも含む）、チームベンチ、ウォームアップエリアから身体的距離（可能な限り2m、最低1m）を確保すること。但し、以下の点に留意すること。

- ✓ 2mよりも近い位置に設定する場合は、不織布マスクの着用と大声を出した応援がないことをホームチームが管理徹底することを条件とする。
- ✓ アクリルボードなどの設置により、飛沫感染が防止できている場合は、2mの確保を不要とする。但し、選手のプレーに影響の及ぶエリアへの設置は、衝突による怪我防止の観点から不可とする。
- ✓ アリーナ面の座席はコート四方への設置を認めるが、ゾーン及び動線の区分により、選手およびチームスタッフが観客と接触することを回避する。

【収容率50%で開催する場合の席割（参考）】



※ 着席不可の席には貼り紙等でその旨を記載すること。

3. アリーナのゾーニングの考え方

(1) 会場のゾーニングと動線の考え方

会場のゾーニングにあたっては、各ゾーンの人数を限定することで感染リスクを抑えることと、ゾーニングを徹底することで感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。会場のゾーニングと動線づくりは、細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

ゾーン1：競技関連

- ✓ コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア周辺
- ✓ 選手入場口
- ✓ 選手及び JURY、審判員の控室

ゾーン2：大会運営スタッフ&プレス関連

- ✓ 運営スタッフ控室
- ✓ プレスルーム
- ✓ プレス席

ゾーン3：お客様エリア

- ✓ 客席
- ✓ コンコース

各エリアのゾーニングを明確化し、ゾーンごとの動線を設定し、人と人との接触を限定してください。運営上、厳密なコントロールが困難な場合もあるかと思いますが、不特定多数の方が同じ場所で交わらないよう最大限の配慮をお願いします。

特に「ゾーン1」に入ることができるスタッフの人員を必要最低限に限定いただくようお願いいたします。「ゾーン1」で活動するスタッフは不織布マスクの着用を原則とし、その他の感染拡大防止対策を実施いただくようお願いいたします。（マスクの着用と感染拡大防止策の実施は「ゾーン2」、「ゾーン3」でも同様に必要となります）

(2) 来場者（ファン・観戦者を除く）の管理

ホームチームは予め、チーム関係者、Vリーグ機構関係者、大会運営スタッフ及びゾーン2に入る招待者の一覧表を作り当日の管理を行ってください。（一覧表のフォーマットは関係者サイト掲載資料をご活用ください）

- ① 来場者名簿を利用して、来場状況を把握してください
- ② Vリーグ機構の関係協力社の来場情報は、大会の3日前頃にご連絡いたします
- ③ 大会参加チームと事前にコミュニケーションをとり、チーム関係者の来場に関する情報を確認した上で大会を迎えてください
- ④ 来場者の入館時の手続きは次のとおりとします

4章 制限付きの試合開催について

a) チーム関係者

- ✓ 選手・チームスタッフは、チームによる管理が及んでいる者として、個別での受付を免除します。
- ✓ 試合当日に発熱等の体調不良を訴える者がいないことを確認し、入館時に「チーム入館者リスト」をご提出ください。（フォーマットは関係者サイト掲載）
- ✓ なお、チームと別行動をされるスタッフ等は本シートに記載せず、その他の関係者と同様に受付を行ってください。
- ✓ 提出された「チーム入館者リスト」は、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いいたします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）をお願いいたします。

b) その他の関係者

- ✓ 従前の紙の健康チェックシートではなく「V.LEAGUE 入館受付システム」によるWEBでの受付とします。
- ✓ 詳細な受付手順は、ユーザーマニュアルをご確認ください。（関係者サイト掲載）来場者への展開もお願いします。
- ✓ 受付担当者は、関係者サイトより当該会場の入館受付用QRコードをダウンロードし、受付への設置をお願いします。また、受付付近の通信環境の確認をお願いいたします。
- ✓ 来場者が提示する受付完了画面を確認し、来場者名簿への記録をお願いします。
- ✓ 本システムでの受付ができない方向けに、紙の「確認書」も準備いただき、必要に応じて使用してください。
- ✓ 来場者の入館時刻、連絡先はVリーグ事務局で管理するため、会場担当で記録いただく必要はございません。新型コロナウイルス陽性者が発生するなどにより、連絡先情報等が必要となった場合は、Vリーグ事務局までご連絡ください。
- ✓ 紙で提出された「確認書」は、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いいたします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）をお願いいたします。

4章 制限付きの試合開催について

4. 会場運営

- (1) 来場者全員（チーム関係者、Vリーグ機構関係者、大会関係スタッフ）に求められること
 - ① 毎日の検温の実施等、日常的に健康状態を確認してください。
 - ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
 - ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
 - ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合
 - ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は控えてください。
 - ④ 身体的距離（2m、最低でも 1 m）を確保する（トイレ・売店等の密集が発生しやすい場所は待機位置をマークする等、特に注意する）。
 - ⑤ マスク（原則として不織布マスク）を着用する。
 - ⑥ 手洗い・手指消毒を適宜行う。

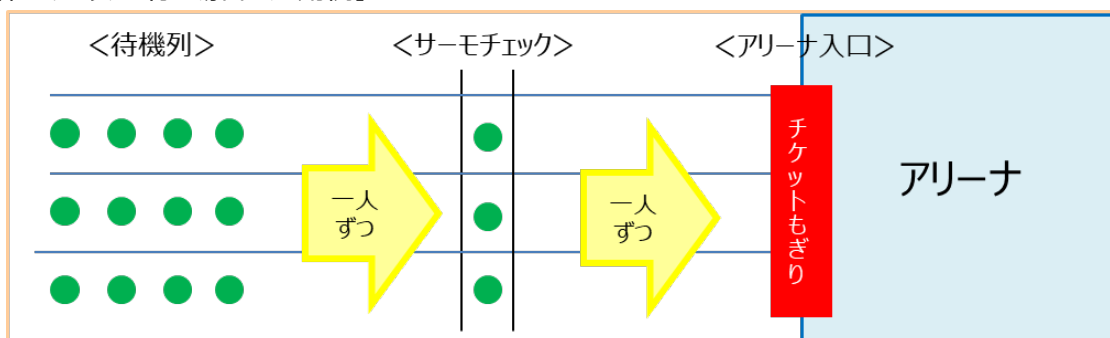
- (2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割
 - ① 対策責任者はガイドラインに沿った対策が行われているかチェックし、改善を指示してください。

- (3) アリーナの衛生管理
 - ① 必要な箇所に消毒液を設置してください。
 - ② 手洗い場には、石鹼（ポンプ式）を用意してください。
 - ③ 試合前、タイムアウト時、セット間、試合間には適宜ドアや窓を開け換気を実施していただくようお願いいたします。

- (4) アリーナへの入退場の管理（ファン・観戦者）
 - ① 待機列が密にならないように工夫する（待機列を形成する場合は 1m の身体的距離を確保する）。
 - ② 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA は機能停止のため利用しない（告知内容は更新する）。
 - ③ 入場時の体温測定は必須とせず、ホームチームが実施の有無を判断するものとする。ただし、体温測定を行わない場合も、37.5 度以上の発熱がある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む。以下 c)、d)も同様)は入場不可である旨を伝えてください。

4章 制限付きの試合開催について

【体温チェックを行う場合の運用例】



- a) サーマルカメラは会場演出ツールとともに持ち回ります（1会場あたり、V1：4台、V2/V3：2台）。ホームチーム手配の機器や、会場常設の機器がある場合は、そちらを使用いただいで構いません。
 - b) チケットもぎりの前にサーモメーター検温スペースを設置してください。
 - c) サーマメーターによるスクリーニングにより 37.5 度以上と疑われる温度が検知されたお客様には、接触体温計により再度、体温チェックを行ってください。
 - d) 接触体温計でも 37.5 度以上の体温が検知された場合、入場をお断りしてください。
 - ✓ その場合でも、原則、チケット料金の払い戻しは行わない
 - ✓ 入場をお断りした方の連絡先を把握しておく
 - e) お客様へ会場内でのマスクの着用を呼びかけてください。
 - f) 手荷物検査を行う場合は、お客様に荷物をあけてもらい、お客様の荷物には触れないでください。
 - g) チケットもぎりは、スタッフは券面チェックのみを行い、お客様自身にチケットをもちってもらう。（電子チケットご利用のお客様にはスタッフが対応する）
 - h) お客様への配布物は、不特定多数の方が触れないように管理し、定期的に手指を消毒したスタッフが配布してください。
 - i) 会場入口を対応する全てのスタッフは、正しくマスクを着用してください。手袋、フェイスガード（アイガード）は必要に応じて着用してください。
 - j) チケットもぎりを行った後、お客様に手指消毒を行っていただくようにしてください。
- (5) アリーナへの入退場の管理（チーム関係者・大会関係者・プレスほか）
- ① アリーナ入館時の体温測定は必須とせず、ホームチームが実施の有無を判断するものとする。ただし、体温測定を行わない場合も、37.5 度以上の発熱がある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場をお断りしてください。
 - ② 来場者名簿を利用して、来場状況を把握してください。
 - ③ 来場者全員に入館記録（入館受付システム/チーム入館者リスト/確認書）の提出を求めてください。
 - ④ 全ての入口に消毒液を設置してください。
- (6) 場内/場外における食品の販売とお客様の持ち込みについて
- ① 食品の販売及びお客様の食事の持ち込みの可否は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を

4章 制限付きの試合開催について

判断してください。

- ② 食事の販売を行う場合、お客様の持ち込みを認める場合は次の事項に留意してください。
 - a) 食事の販売もしくは、お客様の持ち込みを認める場合は、アリーナ内もしくはアリーナ外にイートインスペースを設置することを推奨します。
 - b) イートインスペースの設置においては、対面での食事を避け十分な広さのスペースでお客様が身体的距離を確保できるよう配慮してください。また、可能な限り換気のいい場所にスペースを設置いただくようご配慮のほど、よろしくお願いいたします。お客様が手指消毒を行う、消毒液の設置をお願いします。
 - c) スタンドでの飲食については、アリーナ管理者の方針に従いその可否を決定してください。(アリーナ側が認めるのであれば、スタンドでの食事も可とするが、向かい合って飲食をすることや、周りのお客様に飛沫等が飛ぶことが無いよう、注意喚起をお願いします。違反があった場合は、個別に注意をしていただくようお願いいたします。)
 - d) 食事の際には、手指消毒及び黙飲食の徹底化、可能な限りマスクを着用するようアナウンスをお願いします。
 - e) 感染拡大防止の観点から食事後のゴミは全てお客様自身でお持ち帰りいただくことを推奨するが、そのことにより、アリーナ近隣のゴミ箱が使用されてしまうなど、近隣の施設にご迷惑をおかけしてしまうことも想定されることから、アリーナ管理者と十分相談の上、決定してください。
 - f) アルコール飲料の販売を行う場合は、アリーナ内では過度の飲酒をお控えいただくよう、お客様へご案内ください。
- ③ 飲食販売及びグッズの販売についても感染拡大防止策を講じた上で実施していただいて結構です。
- ④ 販売員は必ず、正しくマスクを着用してください。手袋、フェイスガードは必要に応じて着用してください。

(7) エアコンの使用と換気について

- ① 秋～春に開催するVリーグでは防寒のためにエアコンの使用は必須となります。しかし、エアコンの風によって新型コロナウイルスの感染が広がる事例が報告されています。エアコンの使用時間は時間を区切って限定的に使用すること、定期的な場内の換気を実施していただくよう、お願いします。
- ② 試合会場に関わらず、控室、プレスルーム、トイレなど全ての部屋の換気を定期的に実施していただくよう、お願いします。
 - ※ 厚生労働省によると、
 - i. 窓による換気は1時間に2回以上、数分間の換気を行うこと
 - ii. 空気の流れを作るため、複数の窓がある場合は二方向の壁の窓を開放することが推奨されています。
- ③ 必要に応じ、CO₂測定装置を設置する等により、換気状況を常時モニターし二酸化炭素濃度1000ppm以下を維持することも望ましい。(※機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。)
- ④ 乾燥する場面では、湿度40%以上を目安に加湿することを推奨します。

(8) 喫煙所の設置について

- ① 喫煙所は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を判断してください。

4章 制限付きの試合開催について

- ✓ 設置時間を限定して、屋外に設置していただくことが望ましい。
- ✓ 設置にあたっては、人数制限を行うなど、身体的距離（2m、最低でも1m）に配慮してください。
- ✓ マスクを外しての会話は控えるよう注意喚起を行ってください。

(9) 応援幕の掲示について

応援幕・応援旗の掲示については、チーム（ホームチーム、アウェイチームを問わず）が持ち込み、チームの責任管理下で掲示を行うことを許容します。（ホームチームがホームチームの責任管理下でローカルスポンサーのバナーを掲示することも可）。一般のお客様に旗・幕に触れないよう啓発をお願いします。

なお、ホームチームが認める場合は、一般のファンの方が持ち込む幕や旗の掲示も許容しますが、ホームチームは以下の点に留意し、管理をしてください。

- ✓ 掲出可能場所や設置方法を案内すること
- ✓ 設置にあたっては、開場前に時間を設けるなど、他のお客様がいない状態で行うことが望ましい
- ✓ 撤去にあたっては、設置時と同様に、その他のお客様がいない状態で行うことが望ましい
- ✓ 事前入場等の待機列を形成する場合は、待機列が密にならないよう工夫すること（待機列を形成する場合は1mの身体的距離を確保する）

(10) 声出し応援について

令和5年1月27日開催の政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が一部変更されたこと等を踏まえ、次のとおり「大声あり」での開催（＝声出し応援）ができるものとします。

① 「大声あり」に該当するイベントとして開催する場合（＝声出し応援を適用する場合）

- ✓ 観客席において通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発することを「大声あり」と定義する。得点時等の一時的な歓声はこれに当たらない。
- ✓ 声出し応援を適用する場合は、開催地の自治体へ確認の上、ホームチームが判断する。
- ✓ 声出し応援を適用する場合、以下の点に留意すること。
 - ・ マスク（原則として不織布マスク）を着用する（マスク不着用での発声はしない）
 - ・ 飲食中は会話を慎み、飲食後は速やかにマスクを着用する
 - ・ 飛沫を拡散させるリスクのある応援（指笛、楽器の使用など）を、マスクの着用等の感染対策をせず行うことは禁止とする
- ✓ 声出しをされる環境に不安や懸念があるお客様がいることも考えられるため、既にチケット販売済みの試合（声出し禁止を前提にチケット販売をしている試合）については、払戻しを希望されるお客様への対応を検討することを推奨する。

② 「大声なし」に該当するイベントとして開催する場合（＝声出し応援を適用しない場合）

- ✓ 声を出しての応援や声出しを煽る行為、発声を誘発するようなイベントの実施は禁止とする。
- ✓ 得点時等の一時的な歓声は許容する。
（例：得点や好プレーの際の「オー！」「ワー！」といった一時的な歓声）

4章 制限付きの試合開催について

(11) イベント・ファンサービスについて

① イベント・ファンサービス実施に関する基本的な考え方

- ✓ 混雑が予想される場合は列整理を行い、身体的距離（2m、最低でも1m）に配慮すること。
- ✓ 換気の悪い場所では実施しないこと。
- ✓ 会話・発生を伴う可能性がある場合は、2mの距離を確保するかマスクを着用すること。
- ✓ 人（マスコットを含む）と人との接触を伴う可能性がある場合は、前後に手を洗うか手指消毒をすること。

② 【具体例】チアリーダーのパフォーマンス

- ✓ チアリーダーがコート上及び観客席でパフォーマンスを行う場合は、選手やスタッフとの距離を2m以上確保し（2mの距離が確保できない場合はマスクを着用）、実施すること。

③ 【具体例】試合前のキッズエスコート等

- ✓ 入場前後の待機時に密を避けること。
- ✓ マスク着用もしくは選手との身体的距離を確保すること。（選手は定期検査を実施していることから、マスクを着用しないことも認める）
- ✓ ハイタッチやプレゼントの手渡し、手をつなぐ場合は、前後に手を洗うもしくは手指消毒をすること。
- ✓ 集合写真の撮影の際、マスクを一時的に外すことは認める（保護者が撮影を行う場合は、身体的距離を確保の上で案内すること）

④ 【具体例】スタンドへの投げ込みプレゼント

- ✓ 観客席での密を避けるため、自席を離れての受け取りはしないよう、アナウンスを徹底すること。

⑤ 【具体例】選手との写真撮影

- ✓ 写真撮影においてマスクを外すことを認めるが、会話は控えるよう注意すること。

⑥ 感染拡大防止の観点から、下記の応援スタイルやイベント等は、条件付きでの容認及び禁止とします。

No.	条件付きで容認する応援スタイル等	備考
1	声を出しての応援や発声を誘発するようなイベント	ホームチームが声出し応援を適用する場合は容認される（マスクの着用を求める）
2	指笛による応援	ホームチームが声出し応援を適用する場合は容認される（マスクの着用等の飛沫感染対策を求める）
3	チアスティックを用いての応援 ジェット風船の使用	お客様が口で空気を入れられないよう空気入れを用意し、呼び掛けを行うこと
4	応援幕等の会場内への持ち込みと掲示	4章-4(9)に基づきホームチームが認めた場合
5	ビッグフラッグ等の掲出	観客がいる複数の座席を覆う形での掲出は不可

4章 制限付きの試合開催について

No.	禁止する応援スタイル及びイベント等	備考
1	ハイタッチや肩を組んでの応援	
2	選手からお客様への直接のプレゼント	運営スタッフの管理の下、ホームチームが“イベントとして”限定的に実施する場合はこの限りでない
3	お客様から選手への直接のプレゼント	運営スタッフの管理の下、ホームチームが“イベントとして”限定的に実施する場合はこの限りでない
4	選手の入り待ち・出待ち	運営スタッフの管理の下、ホームチームがお見送り等の“イベントとして”限定的に実施する場合はこの限りでないが、密の形成が懸念される場合は実施を控えること

※ 上記については、今後の状況により、追加・削除・変更の可能性があります

※ 自治体および会場の指示により、追加の禁止事項が設定される場合があります

(12) 選手のアリーナへの入退場時の対応について

- ① 選手・スタッフのゾーン2（大会運営スタッフ&プレス関連エリア）への立ち入りは記者会見等の必要時以外は一切行わないでください。また、ゾーン3（お客様エリア）への立ち入りは一切行わないでください。
- ② お客様に対しては感染拡大防止の観点からも、選手の出待ち等の行為は行えないことを周知してください。
- ③ 大会関係スタッフは選手・チームスタッフのアリーナの入退場時には、ローピングするなどして動線を作り、お客様とチーム関係者の接触を避けるとともに、身体的距離を確保してください。

(13) 非接触決済導入の奨励

グッズ販売や飲食販売などお客様との間で金銭の授受をともなうやりとりを行う場合には、電子マネー等の非接触決済の導入を奨励いたします。また、実際の金銭でのやりとりを行う場合は、コイントレを使用するなど、直接接触を伴う受け渡しを避けていただくようお願いいたします。

(14) お客様の座席の消毒について

- ① お客様の座席の消毒は、開場前に必要に応じて行ってください（直近3日間で使用されていない場合は不要）。
- ② チームサポーター席などお客様の入れ替えを行う席は、必要に応じて試合間に清掃・消毒を行っていただくようお願いいたします。

5. チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について

(1) アリーナへの移動

① チーム関係者のバス移動

チーム関係者はバス移動に際して、以下の点に留意してください。

- ✓ 正しくマスクを着用する
- ✓ 複数台に分乗するなど、選手間の距離を空けることを検討する
- ✓ 車内の換気に留意する。1時間に複数回の換気を行う

② 派遣役員の移動について

派遣役員のアリーナへの移動は公共交通機関の利用を原則とするが、感染拡大防止の観点から、自家用車への移動を許容します。自家用車で移動を希望する場合は、旅費申請時にその旨、事務局に届け出てください。ホームチームは事務局からの要請があった場合は、駐車場の確保にご協力をお願いします。

(2) 試合当日の体温測定

① アリーナ入館時の体温測定は必須とせず、ホームチームが実施の有無を判断するものとします。

② アリーナ入館時の体温測定の実施有無にかかわらず、37.5度以上の発熱がある場合(37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)は、次の通りに対応してください。

- ✓ タクシー等で自宅またはホテルに送り出す
- ✓ ホームチームの対策責任者及びJURYに報告する
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、会場ドクターもしくは保健師に相談の上、診療・検査等の適切な処置をとる
- ✓ 疑いが無い場合は適切に経過観察を行う。

(3) チーム及び派遣役員全員に求められること

① 毎日の検温の実施等、日常的に健康状態を確認してください。

② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。

- ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
- ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
- ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ✓ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合

③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は控えてください。

④ 身体的距離（2m、最低でも1m）を確保する(トイレ・売店等の密集が発生しやすい場所は待機位置を

4章 制限付きの試合開催について

マークする等、特に注意する)。

- ⑤ マスク（原則として不織布マスク）を着用する。
- ⑥ 手洗い・手指消毒を適宜行う。

(4) 更衣室

- ① 更衣室内では身体的距離を確保してください。
 - ✓ 更衣室の利用時間をずらすなどチーム内、派遣役員内で工夫してください
- ② 更衣室の滞在時間を極力減らしてください。
- ③ タオル・スクイズボトル・ペットボトルなどは共用しないでください。
- ④ シャワーは一人ずつ間隔を空けて使用することを原則としてください。使用者の人数が多い場合は時間をずらして使用してください。

(5) 選手の治癒・マッサージ

- ① トレーナーはマスク・手指消毒などの予防策をとった上で対応してください。
- ② 使用する器具の消毒を行ってください。
- ③ 外傷に伴う処置を行う場合は、手指消毒・マスク/手袋着用（自身を守る）を実施し対応してください。

(6) 入館受付について

- ① 会場に来場する全てのチーム関係者、Vリーグ機構関係者、大会運営スタッフは、試合日・設営日に関わらず受付にて入館手続き（入館受付システム/チーム入館者リスト/確認書のいずれかの提出）をお願いします。
- ② 紙で提出されたものについては、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いいたします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）をお願いいたします。

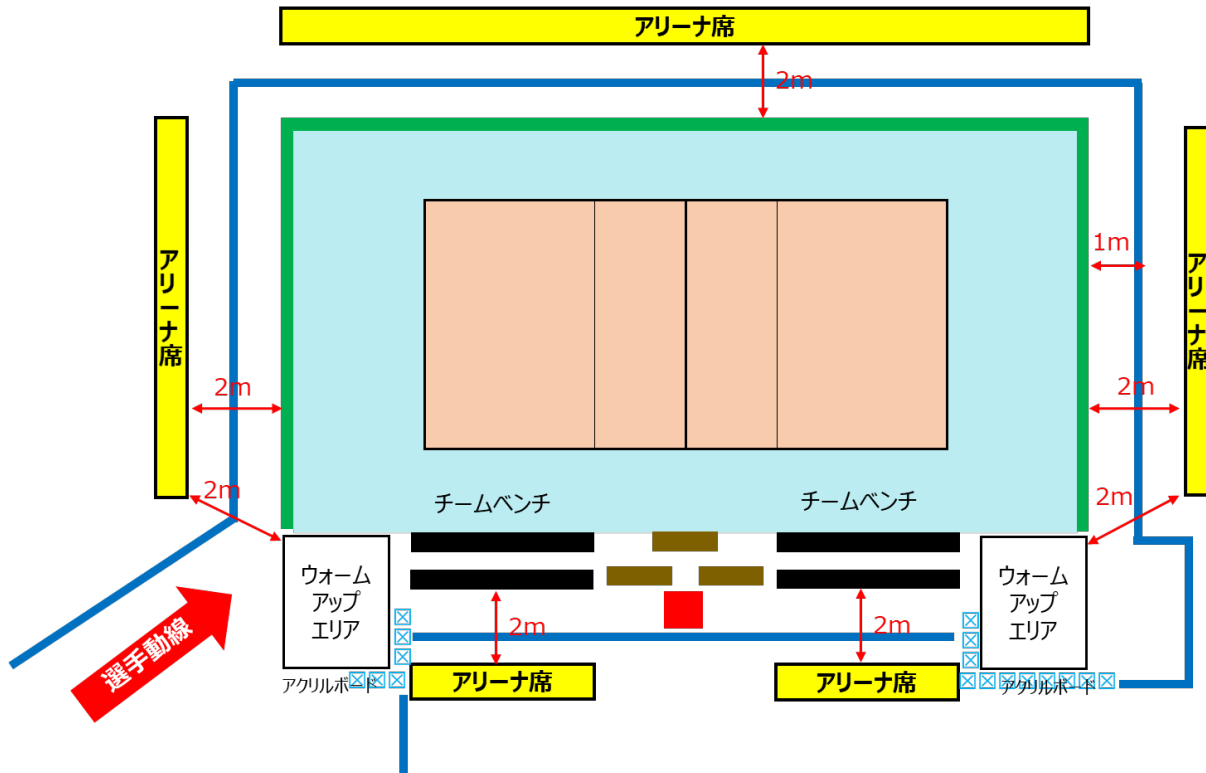
6. 競技について

(1) チームベンチ及びウォームアップエリアについて

競技エリアのレイアウトは下図を原則とします。但し、会場の広さや要件によって下記のレイアウトを変更していただいても結構ですが、その場合でもゾーニングへの配慮をお願いいたします。

- ① チームベンチは身体的距離が確保できるよう、余裕を持った配置にすることを推奨します。
- ② ウォームアップエリアについては、身体的距離の確保の観点から、4 m×4 m 程度の広さ（正方形での設置ができなければ 16 m²程度）を確保することを推奨します。設置する場所は問いませんが、ゾーン3（お客様エリア）との距離（可能な限り2m、最低1m）を確保し、選手・チームスタッフとお客様の接触を回避してください。
- ③ ゾーニング確保の観点から、原則としてチャレンジテーブルは JURY テーブル後方に配置する。
- ④ 試合に出場する選手は、コート上およびベンチ内（ウォームアップエリア内も含む）において、マスクを外すことを認めます。
- ⑤ チームスタッフは、ベンチ内でマスクを着用することを推奨します。ただし、監督がコート内の選手に指示を送る場合などはマスクを外すことを認めます。

■ ベンチ後方に観客席を設置する場合の設置例



4章 制限付きの試合開催について

(2) 競技用具及び競技備品の消毒

競技用具及び会場備品については、JVA が定める『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』を参考に必要に応じて消毒を行ってください（直近 3 日間で使用されていない場合は不要）。

JVA 『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』

https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/JVAguideline_20210305.pdf

(3) 競技関係役員不在時の対応について

競技に関わる役員については『2022-23 V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、Vリーグ機構から派遣ならびにホームチームが手配を行ってください。しかし、従事予定であった役員が新型コロナウイルスに感染、疑い、濃厚接触その他、体調不良などの理由により、予定の職務に従事できなくなり、かつ、人員の補充等ができなくなった場合は、下記の対応により試合開催を優先します。

① 急遽、JURY が不在となった場合

JURY 不在で試合を行う。但し、JURY 不在の場合は、チームはジャッジカンファレンスを行うことはできない。試合進行に必要な業務はゲームコーディネーターが代理で行う。また、緊急事態時の判断及び対応は開催責任者が行う。

② 急遽、Vレフェリーが不在となった場合

当該 JURY が Vリーグ機構事務局と連携の上、代理のレフェリーを選定する。

③ 急遽、チャレンジレフェリーが不在となった場合（V1 チャレンジ採用時のみ）

当該試合の副審がチャレンジレフェリーを務める

④ 急遽、ゲームコーディネーターが不在となった場合

ホームチームのイベント担当責任者が開催責任者と連携の上、代理を務める。

⑤ 急遽、JVIMS 担当者が不在となった場合

a) 3名しか配置できないケース

ブロック判定補助員の配置を削減する。

b) 2名しか配置できないケース

ブロック判定補助員に加え、記録員（バックアップ）を削減する。バックアップは、判定員のコールをボイスレコーダーに録音し対応する。

c) 1名しか配置できないケース

判定員のコールをボイスレコーダーに記録し、試合後に入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）

d) 1人も配置できないケース

会場での JVIMS 対応は困難と判断し、試合後に技術情報委員会にて映像を確認し、入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）

4章 制限付きの試合開催について

(4) クイックモッパーについて

- ① クイックモッパーは競技進行の迅速化の点から、4名配置することとします。各開催地の状況や人員削減の観点から4名での配置が困難な場合は、各会場のJURYと相談をしてクイックモッパーの配置を決定してください。
- ② 試合中、クイックモッパーは手袋の着用を推奨します。手袋についてはホームチームでご準備をお願いします。また、マスクの着用をお願いします。
- ③ クイックモッパーの配置がない場合は以下の対応とします。
 - コート上の選手が自分の保持しているタオルで行ってください。
 - 試合中スライディング等により、選手のタオルで拭ききれない大きなウエットスポットが発生した場合には、レフェリーの判断で、ベンチにいる選手又はスタッフによる柄つきモップでのワイピングを認めます。
 - タイムアウト・テクニカルタイムアウト、セット間のインターバルでは、必要に応じて、チームによる柄つきモップを使用してのワイピングを認めます。

(5) サブコートでの練習

- ① サブコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 換気に留意してください

(6) メインコートでの試合前練習

- ① メインコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 審判員はマスクを着用することといたします。

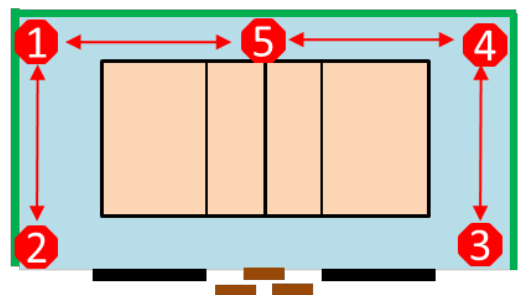
(7) ボールリトリバーについて

ボールリトリバーは競技進行の迅速化の点から、原則、配置することとします。各開催地の状況や人員削減の観点から6名の配置が困難な場合は配置可能な人数にて対応をお願いします。

- ① 手配可能なボールリトリバーの人数に応じて下記の対応をお願いします。(ボールの受け渡し： \longleftrightarrow)

a) 5名配置できる場合

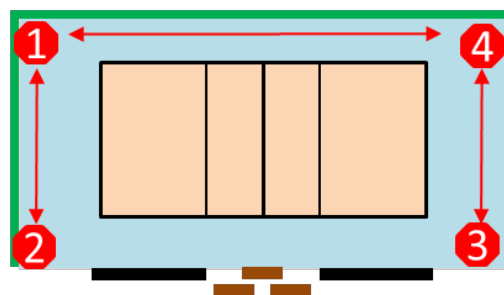
- 1) 5ボールで運用してください。



4章 制限付きの試合開催について

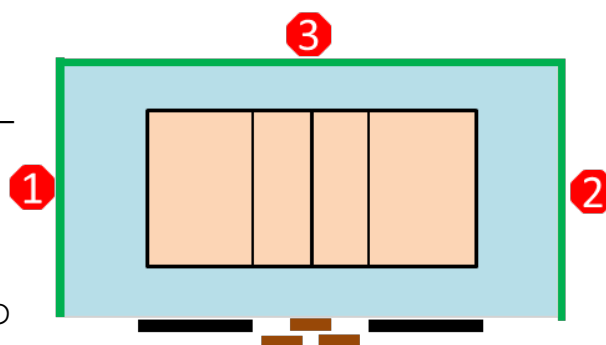
b) 4名配置できる場合

- 1) 5ボールもしくは3ボールで運用してください。
- 2) ①↔④のボールの受け渡しはボールデッド中にお互いは少しずつ移動して確実に受け渡しを行ってください。



c) 3名（もしくは2名）配置できる場合（2名の場合は、①と②の場所に配置）

- 1) 3ボールで運用してください。
- 2) ①と②のリトリバーが、ボールを1つ保持。
- 3) ボールがフェンスを越えて出た場合は、まずサーバーにボールを渡し、その後回収する。
- 4) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、自チーム側の①または②のリトリバーに交換を求めることができる。



d) ボールリトリバーが1名となる場合もしくは不在の場合

- 1) ワンボールで運用してください。
- 2) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、副審に交換を求め、記録席から新しいボールを渡してください。
- 3) ボールフェンスを越えて出た場合は、全て記録席から副審が受け取り、サーバーにボールを渡してください。
- 4) アウトボールはボールリトリバーもしくは競技役員が取りに行き、記録席へ戻してください。

- ② 試合中、ボールリトリバー及びボールを扱う可能性のある役員は、手袋の着用を推奨します。手袋についてはホームチームでご準備をお願いします。また、マスクの着用をお願いします。
- ③ ボールを拭く際には専用のタオルを用い、そのタオルはホームチームで用意をしてください。

(8) 選手入場から試合開始まで

- ① 試合前のイベント→プロトコール→試合開始までの流れは『2022-23 V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、次の事項に留意してホームチームが計画してください。
 - ✓ キッズエスコートを行う場合は4章-4(11)③に従って実施すること
 - ✓ 始球式については認められるが、感染拡大防止策を十分に行った上で実施すること
 - ✓ チームの集合写真の撮影は認められるが、カメラマンとの身体的距離には配慮すること

4章 制限付きの試合開催について

- ② 試合前のセレモニーにおいて、審判員は次の事項に留意し、コントロールしてください
- ✓ 選手同士の握手は行わない
 - ✓ 選手とレフェリーの握手は行わない
 - ✓ コイントスは主副審の立会いのもと両チームのキャプテンにより実施する。但し、身体的距離を保つことを心掛ける

(9) 競技中の注意事項

- ① 試合中、選手は JVA が定める『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』に記載されている内容を遵守してください。
- ② 飲料ボトルの共用を避けてください。たとえ、口が触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性があります。
- ③ 選手が口をつけ蓋をしたボトル等の管理は徹底してください。

(10) タイムアウト、TTO、セット間の対応

- ① 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ動線が混雑しないよう、予め配慮してください。
- ② コートの補修は通常通り行ってください。
- ③ コート上でのチアパフォーマンスについては、選手やスタッフとの距離を 2m 以上確保し、実施するようにしてください。
- ④ セット間等に必要に応じてボールの除菌を行ってください。

(11) 試合終了時のセレモニー

- ① 試合後、選手はエンドライン上に整列し、審判の吹笛の合図で礼を行うが、選手間での握手は行わないこととします。
- ② チームサポーター席への挨拶については、身体的距離を確保することに留意してください。
- ③ 挨拶に移動時は動線が混雑しないように留意してください。

(12) ドーピングコントロール

ドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が定める、『ドーピング検査における新型コロナウイルス対策』に基づき、実施します。

(13) アナリスト席について

アナリスト席はコートエンド 2 階席の片側に設置してください。（アナリスト席までの移動は極力、お客様の動線は避けて移動していただくようお願いいたします。また、アナリスト席エリアでの不要な移動や出入りを極力制限していただくようお願いいたします。）

(14) 勝利者インタビューについて

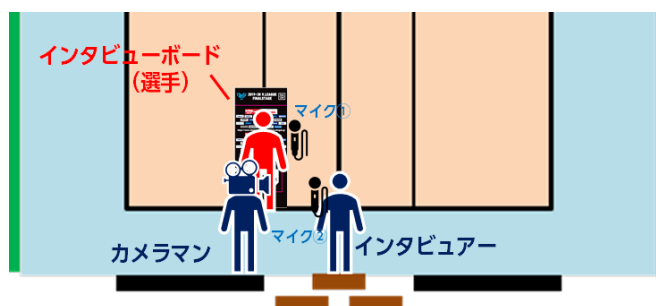
- ① インタビューの位置は昨年と同様にホームチームが決定してください。

4章 制限付きの試合開催について

- ② 勝利者インタビュー用のマイクが会場用、配信用それぞれ2セット準備できる場合と、1セットしか準備できない場合で異なる対応をお願いいたします。
- ③ 使用前、使用後は必要に応じてマイクの消毒をお願いいたします。
- ④ カメラマンは距離を確保の上、選手と正対した位置からの撮影を行います。

<マイクを2セット以上準備できる場合>

- 1) インタビュアーは記録席前など選手と離れた位置から質問をお願いします。(正対する場合は4～5mの距離を取ってください)



<マイクを1セットしか準備できない場合>

- 1) インタビュアーと選手は横並びに並んで同じ方向を向いて話してください(両者間は2m以上離れる)
- 2) インタビューマイクはインタビュアーが質問を発言した後に選手にマイクを手渡していただき、選手が発言する形式をお願いします。



7. ファン・チームサポーターへの対応

(1) ファン・チームサポーターへの事前案内

会場に来場予定のファンの皆さま、チームサポーターの皆さまには事前に次の点のご案内をお願いします。

Vリーグ機構のお客様への案内ページからリンクをとっていただく形でも可。

【Vリーグ機構公式サイト】 <https://www.vleague.jp/covid19/restart.html>

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力をお願いします。
 - ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
 - ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合
- ② 37.5 度以上の発熱がある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場できませんので、予めご了承ください。
- ③ 上記の場合でも、チケットの払い戻し等の対応はいたしかねますので予めご了承ください。
- ④ アリーナ内ではマスク（不織布マスク推奨）の着用をお願いいたします。アリーナでのマスクの配布はございませんので、各自ご準備ください。
- ⑤ 入退場時やトイレ、売店等で待機列の整理の案内がある場合は、案内に従い身体的距離を確保してください。
- ⑥ 手洗い・手指消毒などを適宜実施してください。アリーナ内設置の消毒液をご利用ください。
- ⑦ 指定席の席種では、お手持ちのチケットの座席にお座りください。自由席の席種では、過度な座席確保や頻繁な席移動はご遠慮ください。
- ⑧ その他、ホームチームが地域の感染状況などにより独自の感染対策を講じている場合があります。ホームチームの案内に従った対応へのご協力をお願いします。

4章 制限付きの試合開催について

(2) 応援スタイルについて

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ファン・チームサポーターの方による下記の行為は、条件付きでの容認及び禁止となります。

No.	条件付きで容認する応援スタイル等	備考
1	声を出しての応援や発声を誘発するようなイベント	ホームチームが声出し応援を適用する場合は容認される（マスクの着用の着用を求める）
2	指笛による応援	ホームチームが声出し応援を適用する場合は容認される（マスクの着用等の飛沫感染対策を求める）
3	チアスティックを用いての応援 ジェット風船の使用	ホームチームが認めた場合
4	応援幕等の会場内への持ち込みと掲示	ホームチームが認めた場合

No.	禁止する応援スタイル及びイベント等	備考
1	ハイタッチや肩を組んでの応援	
2	選手からお客様への直接のプレゼント	ホームチームによりイベントとして限定的に実施される場合はこの限りでない
3	お客様から選手への直接のプレゼント	ホームチームによりイベントとして限定的に実施される場合はこの限りでない
4	選手の入り待ち・出待ち	ホームチームによりイベントとして限定的に実施される場合はこの限りでない

- ② 声出し応援を適用しない場合も、得点時等の一時的な歓声は許容されます。（例：得点や好プレーの際の「オー！」「ワー！」といった一時的な歓声）
- ③ 自治体および施設の指示により、ホームチームが追加で禁止行為を設定する場合は、事前および会場内のアナウンスを行ってください。

(3) ファン・チームサポーターの入退場時の対応

お客様の会場入場時及び退場時には、密の発生を避けるために席種別の入場及び席種別の退場を行うことを推奨いたします。

(4) ガイドライン遵守の旨の公表について

開催にあたって、ホームチームは本ガイドライン及び自治体、施設のガイドラインに従って、新型コロナウイルス感染拡大対策の取組みを行う旨をHP等で公表し、お客様が安心して会場に観戦に来ることができるよう努めてください。

8. 報道関係者・中継制作等の対応

(1) 来場者への事前案内

会場で取材予定の報道関係者には事前に次の点についてご案内をお願いします。チーム広報として来場する方については、チーム広報用 AD を配布するチームが責任を持って管理してください。

- ① 各社必要最低限の来場数とするようご協力をお願いいたします。
- ② 来場時は報道関係者受付での入館受付を行ってください。
- ③ 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えください。
 - ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
 - ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合
- ④ 37.5 度以上の発熱がある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場できません。
- ⑤ アリーナ内では常に正しくマスクを着用し、身体的距離（2m、最低でも 1m）をとってください。また、指定されたエリアや動線を順守してください。
- ⑥ 手洗いや手指消毒を適宜行ってください。握手や抱擁などは行わないでください。

(2) 会場のゾーニングと動線

- ① 記者席、プレスルーム、インタビュールームを設ける際は、密を避けられるよう工夫をしてください。
- ② プレスルームを設けられない場合は、テレビカメラとスチールカメラの申請数に応じて、荷物置き用の部屋・スペースの調整をお願いします。
- ③ ゾーン 1（競技関連）およびゾーン 3（お客様）と分離するよう、細心の注意を払って設計いただくようお願いいたします。

4章 制限付きの試合開催について

(3) 取材申請手続き

- ① 来場する全ての報道関係者に対し、事前申請を必須とします（公認報道関係者を除き、申請期日と申請方法は運営マニュアルの記載より変更はありません）。ホームチームは、関係者サイトより出力した「取材申請リスト」に、公認報道関係者とチーム広報の情報を追記し、報道関係者受付に設置して下さい。

報道関係者	申請期日	申請方法
公認報道関係者	原則、大会開催日の4日前まで	公認報道関係者申請の際に申告された取材日程をVリーグ機構で取り纏め、該当するホームチームへ連携する。取材日程の追加を希望する場合は、左記期日までにVリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請。
一般報道関係者	大会開催日の4日前まで	Vリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請
チーム広報	大会開催日の4日前まで	関係者サイト「遠征計画申請」より申請

- ② 記者席またはカメラマンエリア内で身体的距離（2m、最低でも1m）を確保できるよう制限を設け、制限数の範囲内で取材を受け付けてください。取材を受け付けられない場合は、運営マニュアルに則り大会開催日の前日までに対象の報道関係者まで連絡してください。
- ③ ペン記者については、記者席の座席を指定し把握できるようにしてください。座席を指定する際には、身体的距離を確保できる席割を検討してください。カメラマンについては、(4)-③を参照ください。

(4) 大会当日の対応

① 報道関係者受付

- 会場での受付開始時刻は、リーグオフィシャルカメラマンを除き試合開始の60分前とします。
- 37.5度以上の発熱がある場合(37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)は会場での取材活動をお断りしてください。
- 名刺を置いていただく箱等を用意し、直接的な授受は避けてください。「取材申請リスト」に掲載されている方が、入場の対象となります。名刺を「取材申請リスト」と突合し、チェックしてください。（「報道関係者受付名簿」は使用しません。）
- ADやビブスは報道関係者側に向けて机の上に置き、自ら取っていただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫してください。
- 記者席の座席位置や、プレスルームの設置状況を案内し、受付完了後に速やかに移動いただください。

② 記者席

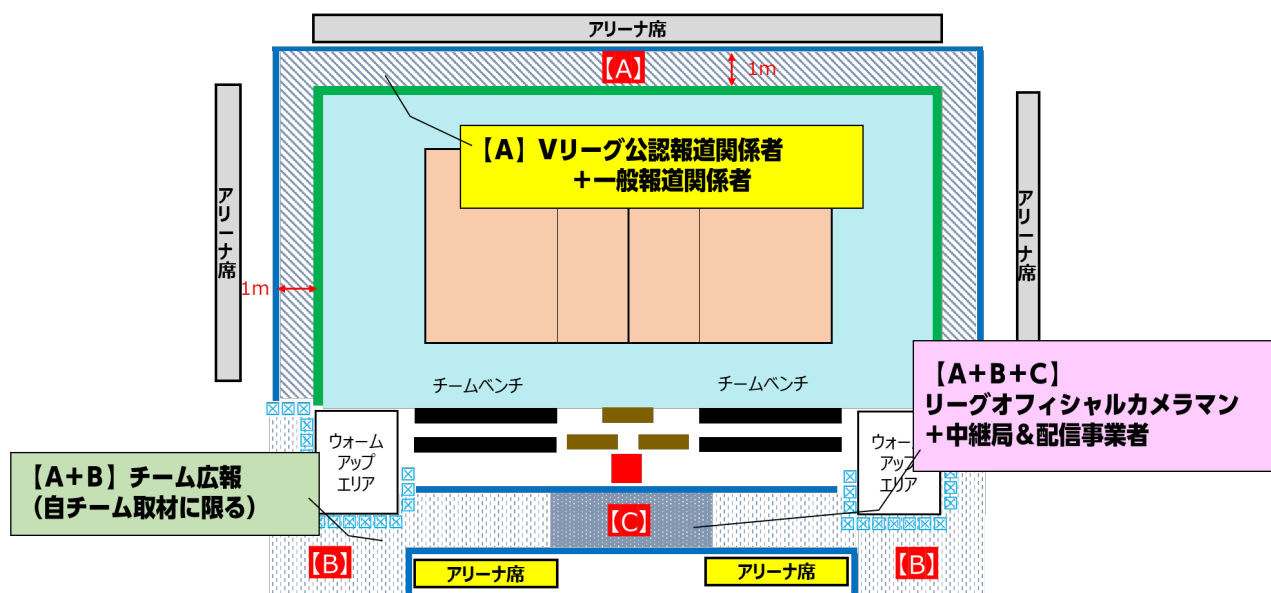
- 報道用回線（Wi-Fi）と電源を準備することを推奨します。
- インタビューリクエスト用紙は所定のBOXへ提出いただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫してください。WEBフォーム作成ツール等を利用したオンライン対応を推奨します。

4章 制限付きの試合開催について

③ カメラマンエリア

TVカメラおよびスチールカメラのエリア区画は下記のとおりとします。【A】～【C】の区分は、関連資料「カメラマン取材可能エリア（アリーナレベル）」と対応しておりますので、本項に記載の無い事項は関連資料を参照ください。

- ✓ 撮影エリアは、ベンチ裏を除く3辺（主審側サイドラインと両エンド）とします。各大会の広報担当者は、身体的距離を確保できるよう撮影位置の間隔を指示してください。リーグオフィシャルカメラマンとチーム広報を除き、撮影者（カメラマン）はいかなる場合であっても、副審側サイドラインエリアに立ち入ることを禁止します。
- ✓ 予めカメラマンの位置を指定し、撮影場所を把握できるようにしておくことを推奨します。
- ✓ 試合中の撮影位置の移動は、試合間またはセット間のみ可能とし、その他は禁止してください。
- ✓ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマンによる、副審後方（JURY席付近）エリアでの撮影については④を参照ください。



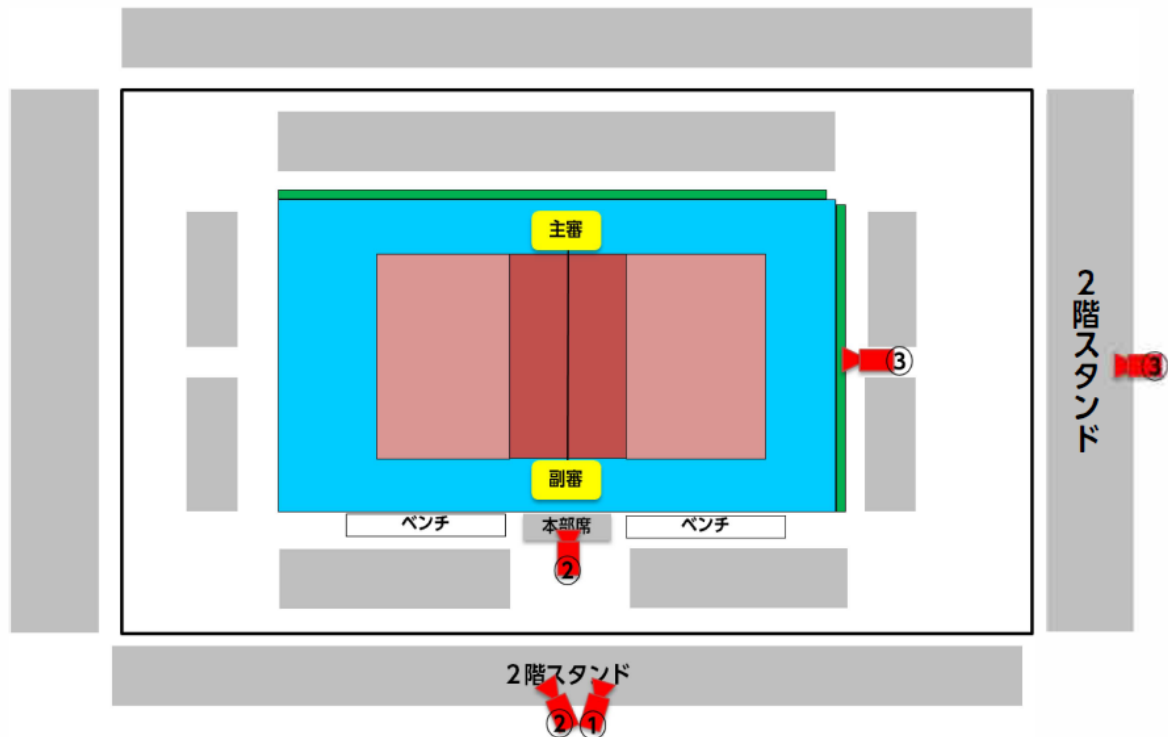
④ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマン

- 中継スタッフおよび放映権を取得したパートナーはVリーグ機構が指定する方法で、入館受付を行っていただきます。体調不良や濃厚接触者の有無等について確認し、該当者がいた場合は該当しないスタッフに対応いただくよう要請してください。
- 会場への入館時に検温を行い、37.5度以上の場合(37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場不可としてください。
- 会場内ではマスクの着用を必須とし、手洗いや手指の消毒を適宜行ってください
- 会場内では身体的距離（2m、最低でも1m）を保ち、ゾーン1にアクセスする人数を制限する。
- 公式配信のカメラ位置は下記のとおりとし、変更がある場合、Vリーグ機構は事前にホームチームへ連絡する。

4章 制限付きの試合開催について

- その他の放映権を取得したパートナーは、事前にホームチームへスタッフ数およびカメラ位置を申請する。ホームチームはパートナーのカメラ位置を把握し、必要に応じて変更要請を行ってください。

■ 配信時の原則的なカメラ位置



- 原則、被写体から2m以上離れて撮影してください。
- 試合前のイベントや入場セレモニーのコート内の撮影については、試合中継局、配信会社、リーグオフィシャルカメラマン、チーム広報のみ撮影を可能としてください。
- 勝利者インタビューは、対象者から2m以上離れて撮影してください。インタビュアーも身体的距離を保ち、正対を避け、解説席など離れた位置からの対応を推奨してください。また、選手とインタビュアーのマイクは必ず分け、必要に応じて消毒した上で選手に渡してください。
- 観戦席やアリーナ外等の密が発生することが想定されるエリアでの撮影は自粛してください。

⑤ 試合終了後

- 記者会見を含む監督および選手への取材は、対面では行わず WEB 方式で対応することを推奨します。対面で行う場合は、下記の点に留意してください。
 - ✓ 換気の良い広い部屋をインタビュールームに割り当て、監督・選手と報道関係者が少なくとも2m、報道関係者同士が身体的距離（2m、最低でも1m）を保てるようにしてください。アリーナ上で行うことを推奨します。
 - ✓ 監督・選手がインタビュールームへ移動する際に、一般観戦者や報道関係者と動線が重ならないよう設定（一時的に通路を封鎖する等も可）してください。監督・選手と報道関係者が異なる出入口を使用することを推奨しますが、難しい場合は全ての報道関係者が入室した後で監督・選手

4章 制限付きの試合開催について

- が入場し、会見後は監督・選手が先に退室するよう案内してください。
- ✓ 会見の司会者は、冒頭に参加者に断ったうえで、マスクを着用したまま進行してください。また、参加者にも常にマスクを着用いただくよう周知してください。
 - ✓ 監督・選手と報道関係者の間にアクリルボード等の遮蔽物を配置する場合を除き、監督・選手は会見中もマスクを着用してください。司会者は、監督・選手がマスクを着用し対応する旨を冒頭に参加者に断ってください。
 - ✓ 会見対象の選手数分のマイクを用意し、選手間でマイクを回さないようにすることを推奨します。監督会見と選手会見の間には、マイクを消毒してください。
- 選手や監督、チームスタッフへのぶら下がり取材は禁止とします。（状況に応じて緩和を検討）
 - すべての報道関係者に、最終試合の会見終了後 1 時間以内に会場を退出いただくようにしてください。
 - 報道関係者受付で「確認書」の提出がされた場合は、大会終了後 2 週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2 週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）してください。チェック済みの「取材申請リスト（PDF データでも可）」は V リーグ機構へ送付してください。

4章 制限付きの試合開催について

(5) 報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等のAD申請及び事前申請/入館確認方法

前記を踏まえて、報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等のAD申請及び事前申請/入館確認方法について下記にまとめます。ご対応のほど、お願いいたします。

	AD 種別	事前申請/入館の確認方法	検査実施	入館受付場所
公式配信中継スタッフ	Vリーグ機構発行 (PARTNER)	関係協力社来場申請 リスト (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
放映権を獲得した 中継局 (全国)	自社発行 (自社ロゴ等)	関係協力社来場申請 リスト (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
放映権を獲得した 中継局 (ローカル)	ホームチーム発行	ホームチームにて管理	任意	関係者受付
リーグオフィシャル カメラマン	Vリーグ機構発行 (OFFICIAL)	派遣通知 (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
チーム広報	Vリーグ機構発行 (TEAM PRESS)	関係者サイト 「遠征計画申請」	任意 (チーム管理)	報道関係者受付
公認報道関係者	Vリーグ機構発行 (PRESS)	関係者サイト 「Vリーグ関連フォーマット>9 広報」	任意	報道関係者受付
一般報道関係者	ホームチーム発行	関係者サイト 「取材管理申請」	任意	報道関係者受付

9. 試合会場の設営及び撤去

(1) 設営及び撤去に関わってくださる全事業者に求められる事項

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力をお願いします。
 - ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
 - ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合
- ② 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ③ 身体的距離（2m、最低でも1m）を確保する
- ④ マスク（原則として不織布マスク）を着用する。
- ⑤ 手洗い・手指消毒を適宜行う。

(2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割

新型コロナウイルス対策責任者は試合会場の設営・撤去が適切に行われているかチェックしてください。

(3) 試合日以外に設営作業を行う場合

- ① 37.5 度以上の発熱がある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)は参加できません。
- ② 予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場状況を管理してください。
 - ✓ 感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。
- ③ 作業に参加される方も入館時に受付を行ってください。
- ④ 全員が利用可能な場所に、手指消毒液を設置してください。
- ⑤ 設営・撤去中は定期的に窓や扉を開けるなど換気を行ってください。

(4) 撤去作業

予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場状況を管理してください。

- ✓ 感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。

(5) ゴミなどの廃棄について

- ① 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛ってください。
- ② ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。

10. 大会前後の行動管理

(1) 大会前後の行動管理について

- ① 全ての関係者（Vリーグ機構関係者・チーム関係者・大会運営スタッフ）は日常的に健康状態を確認し、異変がある場合は医療機関の受診等をご確認ください。
- ② 大会開催日及び準備日の公共交通機関を使用した移動の際は、マスクの着用等の感染拡大防止対策を実施いただくようお願いいたします。
- ③ 飲食店等の利用については、人数の制限や利用時間の分散等によりリスクを下げるよう心掛けてください。
- ④ 上記①～③については、全てのスタッフに周知するとともに、お客様に対しても場内アナウンスや配布物を通じて周知を行ってください。

5章 リモートマッチの開催について

1. リモートマッチの考え方

リモートマッチ（無観客試合）を開催せざるを得ない状況は即ち、新型コロナウイルスの感染が拡大し日本全国もしくは開催地域に大きな影響を及ぼしている状況を意味します。開催にあたっては次の事項を念頭に置くことが求められます。

- ① チーム関係者・大会関係スタッフの人員を少なくすることで、感染リスクを抑える。
- ② ゾーン分けをしておくことで、感染者が発生した際の影響範囲を限定する。
- ③ 特に選手、チームスタッフと接触する人数を最小化する。
- ④ まずは、予定していた試合を開催し、終了することを最優先する。
- ⑤ 会場に来ることのできないお客様は中継及び配信を通じてのみ試合を観戦される。

2. アリーナのゾーニング

(1) 会場のゾーニングと動線の考え方

会場のゾーニングにあたっては、各ゾーンの人数を限定することで感染リスクを抑えることと、ゾーニングを徹底することで感染者が発生した際の影響範囲を限定することが可能になります。会場のゾーニングと動線づくりは、細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

ゾーン1：競技関連

- ✓ コート、ベンチ、ウォームアップエリアを含む競技エリア周辺
- ✓ 選手入場口
- ✓ 選手及び JURY、審判員の控室

ゾーン2：大会運営スタッフ&プレス関連

- ✓ 運営スタッフ控室
- ✓ プレスルーム
- ✓ プレス席

ゾーン3：その他エリア

- ✓ スタンド
- ✓ コンコース

各エリアのゾーニングを明確化し、ゾーンごとの動線を設定し、人と人との接触を限定してください。運営上、厳密なコントロールが困難な場合もあるかと思いますが、不特定多数の方が同じ場所で交わらないよう最大限の配慮をお願いします。

5章 リモートマッチの開催について

特に「ゾーン1」に入ることができるスタッフの人員を必要最低限に限定いただくようお願いいたします。「ゾーン1」で活動するスタッフは不織布マスクの着用を原則とし、その他の感染拡大防止対策を実施いただくようお願いいたします。（マスクの着用と感染拡大防止策の実施は「ゾーン2」、「ゾーン3」でも同様に必要となります）

(2) 来場者（ファン・観戦者を除く）の管理

ホームチームは予め、チーム関係者、Vリーグ機構関係者、大会運営スタッフ及びゾーン2に入る招待者の一覧表を作り当日の管理を行ってください。（一覧表のフォーマットは関係者サイト掲載資料をご活用ください）

- ① 来場者名簿を利用して、来場状況を把握してください
- ② Vリーグ機構の関係協力社の来場情報は、大会の3日前頃にご連絡いたします
- ③ 大会参加チームと事前にコミュニケーションをとり、チーム関係者の来場に関する情報を確認した上で大会を迎えてください
- ④ 来場者の入館時の手続きは次のとおりとします

a) チーム関係者

- ✓ 選手・チームスタッフは、チームによる管理が及んでいる者として、個別での受付を免除します。
- ✓ 試合当日に発熱等の体調不良を訴える者がいないことを確認し、入館時に「チーム入館者リスト」をご提出ください。（フォーマットは関係者サイト掲載）
- ✓ なお、チームと別行動をされるスタッフ等は本シートに記載せず、その他の関係者と同様に受付を行ってください。
- ✓ 提出された「チーム入館者リスト」は、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いいたします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）をお願いいたします。

b) その他の関係者

- ✓ 従前の紙の健康チェックシートではなく「V.LEAGUE 入館受付システム」によるWEBでの受付とします。
- ✓ 詳細な受付手順は、ユーザーマニュアルをご確認ください。（関係者サイト掲載）来場者への展開もお願いします。
- ✓ 受付担当者は、関係者サイトより当該会場の入館受付用QRコードをダウンロードし、受付への設置をお願いします。また、受付付近の通信環境の確認をお願いいたします。
- ✓ 来場者が提示する受付完了画面を確認し、来場者名簿への記録をお願いします。
- ✓ 本システムでの受付ができない方向けに、紙の「確認書」も準備いただき、必要に応じて使用してください。
- ✓ 来場者の入館時刻、連絡先はVリーグ事務局で管理するため、会場担当で記録いただく必要はございません。新型コロナウイルス陽性者が発生するなどにより、連絡先情報等が必要となった場合は、Vリーグ事務局までご連絡ください。

5章 リモートマッチの開催について

- ✓ 紙で提出された「確認書」は、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）をお願いいたします。

(3) 来場が可能な方

- ① 出場チーム登録選手・登録スタッフ
- ② 出場チーム登録外スタッフ・チーム関係者（原則、1チーム10名以内とする）
- ③ ホームゲーム大会運営スタッフ（必要最低限とする）
- ④ Vリーグ機構関係者（必要最低限とする）
- ⑤ Vリーグ機構スポンサー（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑥ ホームチームスポンサー（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑦ 来賓（可能な限り来場をとりやめていただくよう理解を求める）
- ⑧ 出場チームサポーター（原則、応援リーダー等1チーム2名まで）
- ⑨ マスコット
- ⑩ チアリーダー
- ⑪ 報道関係者
- ⑫ 中継スタッフ
- ⑬ 上記以外に必要と認められる者

※ 大会運営スタッフについては必要最低限の人員にてお願いします。

※ 出場チーム以外のアナリストが来場することも控えてください。

※ リモートマッチにせざるを得ない状況を理解していただき、来賓等の来場者の来場も可能な限り来場を控えていただくよう理解を求めてください。

3. 会場運営

(1) 来場者全員（チーム関係者、Vリーグ機構関係者、大会関係スタッフ）に求められること

- ① 毎日の検温の実施等、日常的に健康状態を確認してください。
- ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
 - ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
 - ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合
- ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は控えてください。

5章 リモートマッチの開催について

- ④ 身体的距離（2m、最低でも1m）を確保する(トイレ・売店等の密集が発生しやすい場所は待機位置をマークする等、特に注意する)。
- ⑤ マスク（原則として不織布マスク）を着用する。
- ⑥ 手洗い・手指消毒を適宜行う。

(2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割

- ① 対策責任者はガイドラインに沿った対策が行われているかチェックし、改善を指示してください。

(3) アリーナの衛生管理

- ① 使用する全ての諸室に消毒液を設置してください。
- ② 手洗い場には、石鹼（ポンプ式）を用意してください。
- ③ 試合前、タイムアウト時、セット間、試合間には適宜ドアや窓を開け換気を実施していただくようお願いいたします。

(4) アリーナへの入退場の管理（チーム関係者・大会役員・関係者・プレスほか）

- ① アリーナ入館時の体温測定は必須とせず、ホームチームが実施の有無を判断するものとする。ただし、体温測定を行わない場合も、37.5度以上の発熱がある場合(37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場をお断りしてください。
- ② 来場者名簿を利用して、来場状況を把握してください。
- ③ 来場者全員に入館記録（入館受付システム/チーム入館者リスト/確認書）の提出を求めてください。
- ④ 全ての入口に消毒液を設置してください。

(5) エアコンの使用と換気について

- ① 秋～春に開催するVリーグでは防寒のためにエアコンの使用は必須となります。しかし、エアコンの風によって新型コロナウイルスの感染が広がる事例が報告されています。エアコンの使用時間は時間を区切って限定的に使用すること、定期的な場内の換気を実施していただくよう、お願いします。
- ② 試合会場に関わらず、控室、プレスルーム、トイレなど全ての部屋の換気を定期的に実施していただくよう、お願いします。
※ 厚生労働省によると、
 - i. 窓による換気は1時間に2回以上、数分間の換気を行うこと
 - ii. 空気の流れを作るため、複数の窓がある場合は二方向の壁の窓を開放することが推奨されています。
- ③ 必要に応じ、CO2測定装置を設置する等により、換気状況を常時モニターし1000ppm以下（※）を維持することも望ましい。（※機械換気の場合。窓開け換気の場合は目安。）
- ④ 乾燥する場面では、湿度40%以上を目安に加湿することを推奨します。

5章 リモートマッチの開催について

(6) 喫煙所の設置について

- ① 喫煙所は開催自治体及びアリーナの方針に従い、実施可否を判断してください。
 - ✓ 設置時間を限定して、屋外に設置していただくことが望ましい。
 - ✓ 設置にあたっては、人数制限を行うなど、身体的距離（2m、最低でも1m）に配慮してください。
 - ✓ マスクを外しての会話は控えるよう注意喚起を行ってください。

(7) 応援幕の掲示について

応援幕・応援旗の掲示については、チーム（ホームチーム、アウェイチームを問わず）が持ち込み、チームの責任管理下で掲示を行うことを許容します。（ホームチームがホームチームの責任管理下でローカルスポンサーのバナーを掲示することも可）。

(8) イベントについて

- ⑦ イベント実施に関する基本的な考え方
 - ✓ 身体的距離（2m、最低でも1m）に配慮すること。
- ⑧ 【具体例】チアリーダーのパフォーマンス
 - ✓ チアリーダーがコート上及び観客席でパフォーマンスを行う場合は、選手やスタッフとの距離を2m以上確保し（2mの距離が確保できない場合はマスクを着用）、実施すること。

(9) 選手のアリーナへの入退場時の対応について

- ① 選手・スタッフのゾーン2（大会運営スタッフ&プレス関連エリア）への立ち入りは記者会見等の必要時以外は一切行わないでください。また、ゾーン3への立ち入りは一切行わないでください。
- ② ファンの皆さまには感染拡大防止の観点からも、選手の出待ち等の行為は行えないことを周知してください。
- ③ 大会関係スタッフは選手・チームスタッフのアリーナの入退場時には、ローピングするなどして動線を作り、お客様とチーム関係者の接触を避けるとともに、身体的距離を確保してください。

4. チーム及び派遣役員（JURY・Vレフェリー）について

(1) アリーナへの移動

① チーム関係者のバス移動

チーム関係者はバス移動に際して、以下の点に留意してください。

- ✓ 正しくマスクを着用する
- ✓ 複数台に分乗するなど、選手間の距離を空けることを検討する
- ✓ 車内の換気に留意する。1時間に複数回の換気を行う

② 派遣役員の移動について

派遣役員のアリーナへの移動は公共交通機関の利用を原則とするが、感染拡大防止の観点から、自家用車への移動を許容します。自家用車で移動を希望する場合は、旅費申請時にその旨、事務局に届け出

5章 リモートマッチの開催について

てください。ホームチームは事務局からの要請があった場合は、駐車場の確保にご協力をお願いします。

(2) 試合当日の体温測定

- ① アリーナ入館時の体温測定は必須とせず、ホームチームが実施の有無を判断するものとします。
- ② アリーナ入館時の体温測定の実施有無にかかわらず、37.5度以上の発熱がある場合(37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)は、次の通りに対応してください。
 - ✓ タクシー等で自宅またはホテルに送り出す
 - ✓ ホームチームの対策責任者及びJURYに報告する
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、会場ドクターもしくは保健師に相談の上、診療・検査等の適切な処置をとる
 - ✓ 疑いが無い場合は適切に経過観察を行う。

(3) チーム及び派遣役員全員に求められること

- ① 毎日の検温の実施等、日常的に健康状態を確認してください。
- ② 次に該当する場合は必ず来場を見合わせてください。
 - ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
 - ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合
- ③ 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は控えてください。
- ④ 身体的距離（2m、最低でも1m）を確保する(トイレ・売店等の密集が発生しやすい場所は待機位置をマークする等、特に注意する)。
- ⑤ マスク（原則として不織布マスク）を着用する。
- ⑥ 手洗い・手指消毒を適宜行う。

(4) 更衣室

- ① 更衣室では身体的距離を確保してください。
 - ✓ 更衣室の利用時間をずらすなどチーム内、派遣役員内で工夫してください
- ② 更衣室の滞在時間を極力減らしてください。
- ③ タオル・スクイズボトル・ペットボトルなどは共用しないでください。
- ④ シャワーは一人ずつ間隔を空けて使用することを原則としてください。使用者の人数が多い場合は時間をずらして使用してください。

5章 リモートマッチの開催について

(5) 選手の治癒・マッサージ

- ① トレーナーはマスク・手指消毒などの予防策をとった上で対応してください。
- ② 使用する器具の消毒を行ってください。
- ③ 外傷に伴う処置を行う場合は、手指消毒・マスク/手袋着用（自身を守る）を実施し対応してください。

(6) 入館受付について

- ③ 会場に来場する全てのチーム関係者、Vリーグ機構関係者、大会運営スタッフは、試合日・設営日に関わらず受付にて入館手続き（入館受付システム/チーム入館者リスト/確認書のいずれかの提出）をお願いします。
- ④ 紙で提出されたものについては、大会終了後2週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）をお願いいたします。

5. 競技について

(1) チームベンチ及びウォームアップエリアについて

競技エリアのレイアウトは下図を原則とします。但し、会場の広さや要件によって下記のレイアウトを変更していただいても結構ですが、その場合でもゾーニングへの配慮をお願いいたします。

- ① チームベンチは身体的距離が確保できるよう、余裕を持った配置にすることを推奨します。
- ② ウォームアップエリアについては、身体的距離の確保の観点から、4 m×4 m 程度の広さ（正方形での設置ができれば 16 m²程度）を確保することを推奨します。設置する場所は問いませんが、ゾーン3（お客様エリア）との距離（可能な限り 2m、最低 1m）を確保し、選手・チームスタッフとお客様の接触を回避してください。
- ③ ゾーニング確保の観点から、原則としてチャレンジテーブルは JURY テーブル後方に配置する。
- ④ 試合に出場する選手は、コート上およびベンチ内（ウォームアップエリア内も含む）において、マスクを外すことを認めず。
- ⑤ チームスタッフは、ベンチ内でマスクを着用することを推奨します。ただし、監督がコート内の選手に指示を送る場合などはマスクを外すことを認めず。

(2) 競技用具及び競技備品の消毒

競技用具及び会場備品については、JVA が定める『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』を参考に必要に応じて消毒を行ってください（直近 3 日間で使用されていない場合は不要）。

JVA 『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』

https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/JVAguideline_20210305.pdf

(3) 競技関係役員不在時の対応について

競技に関わる役員については『2022-23 V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、Vリーグ機構から派遣ならびにホームチームが手配を行ってください。しかし、従事予定であった役員が新型コロナウイルスに感染、疑い、濃厚接触その他、体調不良などの理由により、予定の職務に従事できなくなり、かつ、人員の補充等ができなくなった場合は、下記の対応により試合開催を優先する。

- ① 急遽、JURY が不在となった場合
JURY 不在で試合を行う。但し、JURY 不在の場合は、チームはジャッジカンファレンスを行うことはできない。試合進行に必要な業務はゲームコーディネーターが代理で行う。また、緊急事態時の判断及び対応は開催責任者が行う。
- ② 急遽、Vレフェリーが不在となった場合
当該 JURY が Vリーグ機構事務局と連携の上、代理のレフェリーを選定する。
- ③ 急遽、チャレンジレフェリーが不在となった場合（V1 チャレンジ採用時のみ）
当該試合の副審がチャレンジレフェリーを務める

5章 リモートマッチの開催について

- ④ 急遽、ゲームコーディネーターが不在となった場合
ホームチームのイベント担当責任者が開催責任者と連携の上、代理を務める。

- ⑤ 急遽、JVIMS 担当者が不在となった場合
 - a) 3名しか配置できないケース
ブロック判定補助員の配置を削減する。
 - b) 2名しか配置できないケース
ブロック判定補助員に加え、記録員（バックアップ）を削減する。バックアップは、判定員のコールをボイスレコーダーに録音し対応する。
 - c) 1名しか配置できないケース
判定員のコールをボイスレコーダーに記録し、試合後に入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）
 - d) 1人も配置できないケース
会場での JVIMS 対応は困難と判断し、試合後に技術情報委員会にて映像を確認し、入力対応を行う。（ライブスコアは実施しない）

(4) クイックモッパーについて

- ① クイックモッパーは競技進行の迅速化の点から、4名配置することとします。各開催地の状況や人員削減の観点から4名での配置が困難な場合は、各会場の JURY と相談をしてクイックモッパーの配置を決定してください。
- ② 試合中、クイックモッパーは手袋の着用を推奨します。手袋についてはホームチームでご準備をお願いします。また、マスクの着用をお願いします。
- ③ クイックモッパーの配置がない場合は以下の対応とします。
 - コート上の選手が自分の保持しているタオルで行ってください。
 - 試合中スライディング等により、選手のタオルで拭ききれない大きなウエットスポットが発生した場合には、レフェリーの判断で、ベンチにいる選手又はスタッフによる柄つきモップでのワイピングを認めます。
 - タイムアウト・テクニカルタイムアウト、セット間のインターバルでは、必要に応じて、チームによる柄つきモップを使用するのワイピングを認めます。

(5) サブコートでの練習

- ① サブコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 換気に留意してください

(6) メインコートでの試合前練習

- ① メインコートの練習時は選手、コーチングスタッフは、マスク着用を必須としません。
- ② 審判員はマスクを着用することといたします。

5章 リモートマッチの開催について

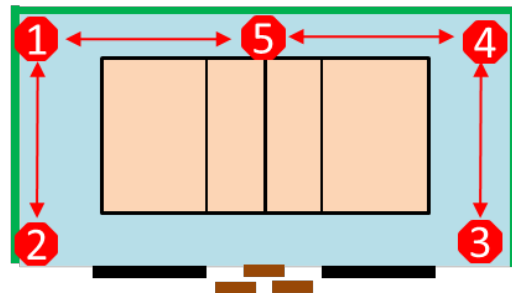
(7) ボールリトリバーについて

ボールリトリバーは競技進行の迅速化の点から、原則、配置してください。各開催地の状況や人員削減の観点から6名の配置が困難な場合は配置可能な人数にて対応をお願いします。

① 手配可能なボールリトリバーの人数に応じて下記の対応をお願いします。(ボールの受け渡し： \longleftrightarrow)

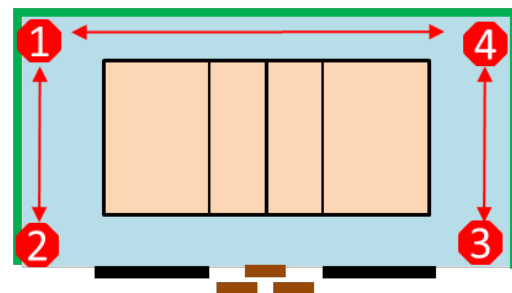
a) 5名配置できる場合

- 1) 5ボールで運用してください。



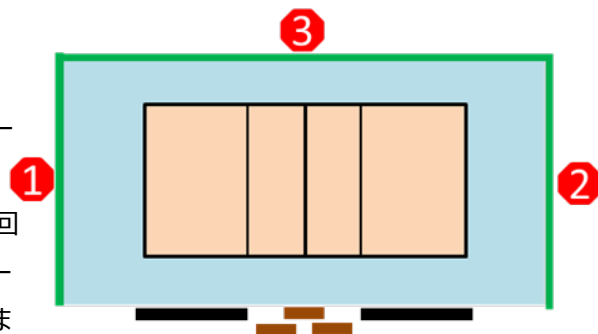
b) 4名配置できる場合

- 1) 5ボールもしくは3ボールで運用してください。
- 2) ① \leftrightarrow ④のボールの受け渡しはボールデッド中にお互いは少しずつ移動して確実に受け渡しを行ってください。



c) 3名 (もしくは2名) 配置できる場合 (2名の場合は、①と②の場所に配置)

- 1) 3ボールで運用してください。
- 2) ①と②のリトリバーが、ボールを1つ保持。
- 3) ボールがフェンスを越えて出た場合は、まずサーバーにボールを渡し、その後回収する。
- 4) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、自チーム側の①または②のリトリバーに交換を求めることができる。



d) ボールリトリバーを1名配置できる場合もしくは不在の場合

- 1) ワンボールで運用してください。
- 2) コート内及びフリーゾーンのボールは、選手が回収し、次のサービスチームにボールを流す。ボールの交換が必要な場合は、副審に交換を求め、記録席から新しいボールを渡してください。
- 3) ボールフェンスを越えて出た場合は、全て記録席から副審が受け取り、サーバーにボールを渡してく

5章 リモートマッチの開催について

ださい。

4) アウトボールはボールリトリバーもしくは競技役員が取りに行き、記録席へ戻してください。

- ② 試合中、ボールリトリバー及びボールを扱う可能性のある役員は、手袋の着用を推奨します。手袋についてはホームチームでご準備をお願いします。また、マスクの着用をお願いします。
- ③ ボールを拭く際には専用のタオルを用い、そのタオルはホームチームで用意をしてください。

(8) 選手入場から試合開始まで

- ① 試合前のイベント→プロトコール→試合開始までの流れは『2022-23 V.LEAGUE HAND BOOK』に従って、次の事項に留意してホームチームが計画してください。
 - ✓ キッズエスコートは原則として行わない
 - ✓ 始球式は原則として実施しない
 - ✓ チームの集合写真の撮影は認められるが、カメラマンとの身体的距離には配慮すること
- ② 試合前のセレモニーにおいて、審判員は次の事項に留意し、コントロールしてください
 - ✓ 選手同士の握手は行わない
 - ✓ 選手とレフェリーの握手は行わない
 - ✓ コイントスは主副審立会にのみと両チームのキャプテンにより実施する。但し、身体的距離を保つことを心掛ける

(9) 競技中の注意事項

- ① 試合中、選手はJVAが定める『バレーボール競技に関わる大会運営ガイドライン』に記載されている内容を遵守してください。
- ② 飲料ボトルの共用を避けてください。たとえ、口が触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性があります。
- ③ 選手が口をつけ蓋をしたボトル等の管理は徹底してください。

(10) タイムアウト、TTO、セット間の対応

- ① 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ動線及びモッパーの動線が混雑しないよう、予め配慮してください
- ② コートの補修は通常通り行ってください。
- ③ コート上でのチアパフォーマンスについては、選手やスタッフとの距離を2m以上確保し、実施するようにしてください。
- ④ セット間等に必要に応じてボールの除菌を行ってください。

(11) 試合終了時のセレモニー

- ① 試合後、選手はエンドライン上に整列し、審判の吹笛の合図で礼を行うが、選手間での握手は行わないこととします。
- ② 中継を通じて観戦しているファンの皆さまへ挨拶する場合は、身体的距離を確保することに留意してくださ

5章 リモートマッチの開催について

い。また、選手間でのハイタッチや、抱擁、握手は行わないでください。

- ③ 挨拶に移動時は動線が混雑しないように留意してください。

(12) ドーピングコントロール

ドーピング検査については、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が定める、『ドーピング検査における新型コロナウイルス対策』に基づき、実施します。

(13) 勝利者インタビューについて

- ① リモートマッチの場合でも勝利者インタビューは必ず行ってください。
- ② インタビューの際には報道関係者にもインタビュー内容を提供できるように、必ず、会場用マイクと配信用マイクを用いて行ってください。
- ③ 実施方法は「制限付きの試合開催」の考え方と同様です。

6. アリーナ外でのファン・サポーターの集結を防ぐ

(1) ファン・サポーターへの事前案内

リモートマッチ開催にあたっては、次の事項をファン及びチームサポーターの皆さまに事前案内してください。

- アリーナまたはその周辺に来場しないでください
- 極力、家に留まっていただきモバイル機器やテレビを見て応援してください
- 友人と一緒にテレビ観戦する場合も、対面にならず、会話を減らし、マスクをして身体的距離を確保するよう心がけてください

7. 報道関係者・中継制作等の対応

(1) 来場者への事前案内

会場で取材予定の報道関係者には事前に次の点についてご案内をお願いします。チーム広報として来場する方については、チーム広報用 AD を配布するチームが責任を持って管理してください。

- ① 各社必要最低限の来場数とするようご協力をお願いいたします。
- ② 来場時は報道関係者受付での入館受付を行ってください。
- ③ 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えください。
 - ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
 - ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどとして公的機関より行動制限の要請を受けている場合
- ④ 37.5 度以上の発熱がある場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場できません。
- ⑤ アリーナ内では常に正しくマスクを着用し、身体的距離（2m、最低でも 1m）をとってください。また、指定されたエリアや動線を順守してください。
- ⑥ 手洗いや手指消毒を適宜行ってください。握手や抱擁などは行わないでください。

(2) 会場のゾーニングと動線

- ① 記者席、プレスルーム、インタビュールームを設ける際は、密を避けられるよう工夫をしてください。
- ② プレスルームを設けられない場合は、テレビカメラとスチールカメラの申請数に応じて、荷物置き用の部屋・スペースの調整をお願いします。
- ③ ゾーン 1（競技関連）およびゾーン 3 と分離するよう、細心の注意を払って設計いただくようお願いします。

5章 リモートマッチの開催について

(3) 取材申請手続き

- ① 来場する全ての報道関係者に対し、事前申請を必須とします（公認報道関係者を除き、申請期日と申請方法は運営マニュアルの記載より変更はありません）。ホームチームは、関係者サイトより出力した「取材申請リスト」に、公認報道関係者とチーム広報の情報を追記し、報道関係者受付に設置してください。

報道関係者	申請期日	申請方法
公認報道関係者	原則、大会開催日の4日前まで	公認報道関係者申請の際に申告された取材日程をVリーグ機構で取り纏め、該当するホームチームへ連携する。取材日程の追加を希望する場合は、左記期日までにVリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請。
一般報道関係者	大会開催日の4日前まで	Vリーグ機構コーポレートサイト「取材申請フォーム」より申請
チーム広報	大会開催日の4日前まで	関係者サイト「遠征計画申請」より申請

- ② 記者席またはカメラマンエリア内で身体的距離（2m、最低でも1m）を確保できるよう制限を設け、制限数の範囲内で取材を受け付けてください。取材を受け付けられない場合は、運営マニュアルに則り大会開催日の前日までに対象の報道関係者まで連絡してください。
- ③ ペン記者については、記者席の座席を指定し把握できるようにしてください。座席を指定する際には、身体的距離を確保できる席割を検討してください。カメラマンについては、(4)-③を参照ください。

(4) 大会当日の対応

① 報道関係者受付

- 会場での受付開始時刻は、リーグオフィシャルカメラマンを除き試合開始の60分前とします。
- 37.5度以上の発熱がある場合(37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)は会場での取材活動をお断りしてください。
- 名刺を置いていただく箱等を用意し、直接的な授受は避けてください。「取材申請リスト」に掲載されている方が、入場の対象となります。名刺を「取材申請リスト」と突合し、チェックしてください。（「報道関係者受付名簿」は使用しません。）
- ADやビブスは報道関係者側に向けて机の上に置き、自ら取っていただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫してください。
- 記者席の座席位置と、プレスルームの使用ができないことを案内し、受付完了後に速やかに移動いただくください。

② 記者席

- 報道用回線（Wi-Fi）と電源を準備することを推奨します。
- インタビューリクエスト用紙は所定のBOXへ提出いただくなど不要な接触機会を減らすよう工夫してくだ

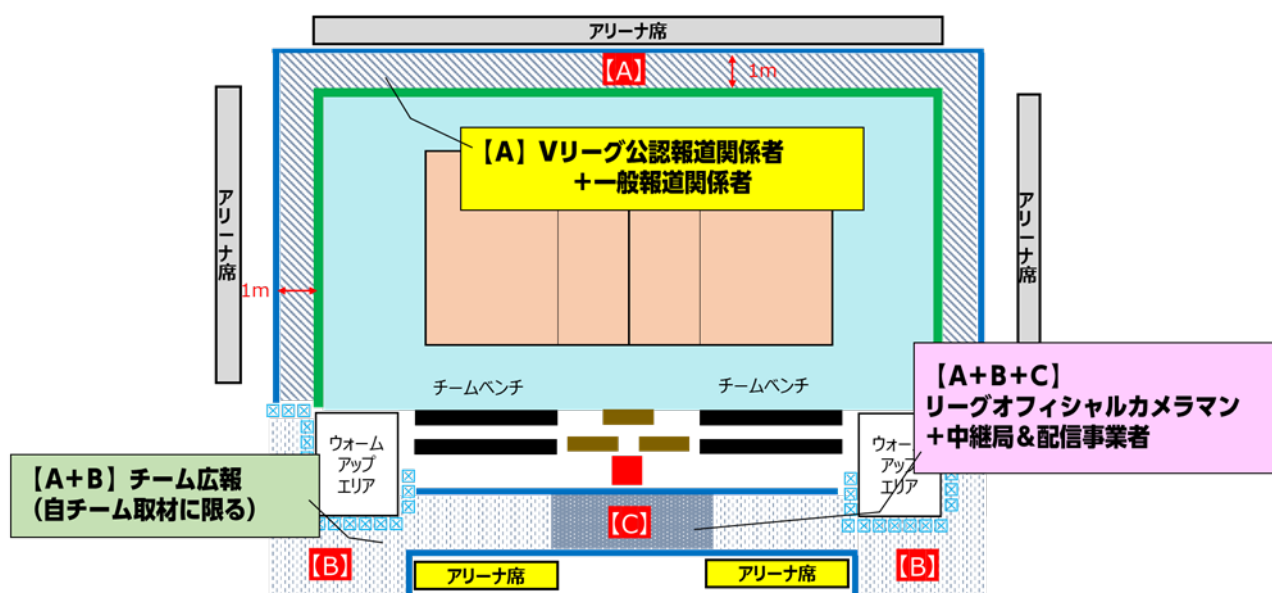
5章 リモートマッチの開催について

さい。WEB フォーム作成ツール等を利用したオンライン対応を推奨します。

③ カメラマンエリア

TV カメラおよびスチールカメラのエリア区画は下記のとおりとします。【A】～【C】の区分は、関連資料「カメラマン取材可能エリア（アリーナレベル）」と対応しておりますので、本項に記載の無い事項は関連資料を参照ください。

- ✓ 撮影エリアは、ベンチ裏を除く3辺（主審側サイドラインと両エンド）とします。各大会の広報担当者は、身体的距離を確保できるよう撮影位置の間隔を指示してください。リーグオフィシャルカメラマンとチーム広報を除き、撮影者（カメラマン）はいかなる場合であっても、副審側サイドラインエリアに立ち入ることを禁止します。
- ✓ 予めカメラマンの位置を指定し、撮影場所を把握できるようにしておくことを推奨します。
- ✓ 試合中の撮影位置の移動は、試合間またはセット間のみ可能とし、その他は禁止してください。
- ✓ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマンによる、副審後方（JURY 席付近）エリアでの撮影については④を参照ください。



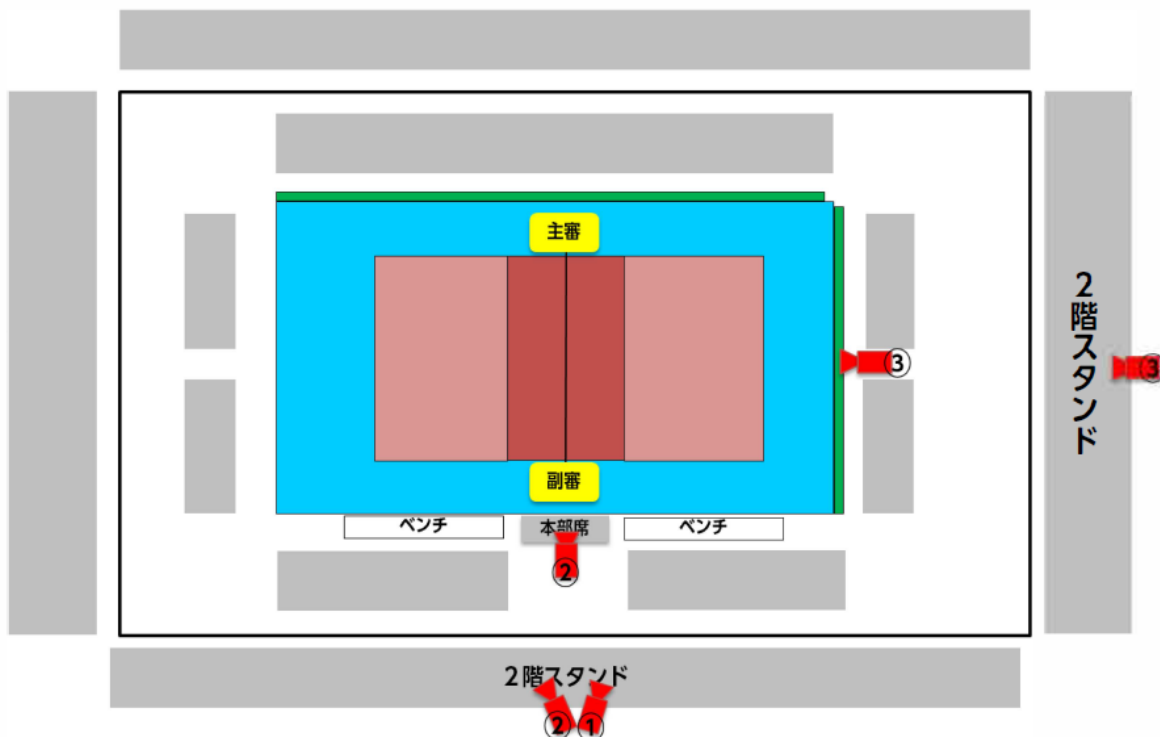
④ 中継制作スタッフおよびリーグオフィシャルカメラマン

- 中継スタッフおよび放映権を取得したパートナーはVリーグ機構が指定する方法で、入館受付を行っていただきます。体調不良や濃厚接触者の有無等について確認し、該当者がいた場合は該当しないスタッフに対応いただくよう要請してください。
- 会場への入館時に検温を行い、37.5 度以上の場合(37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む)は入場不可としてください。
- 会場内ではマスクの着用を必須とし、手洗いや手指の消毒を適宜行ってください
- 会場内では身体的距離（2m、最低でも 1m）を保ち、ゾーン 1 にアクセスする人数を制限する。

5章 リモートマッチの開催について

- 公式配信のカメラ位置は下記のとおりとし、変更がある場合、Vリーグ機構は事前にホームチームへ連絡する。
その他の放映権を取得したパートナーは、事前にホームチームへスタッフ数およびカメラ位置を申請する。ホームチームはパートナーのカメラ位置を把握し、必要に応じて変更要請を行ってください。

■ 配信時の原則的なカメラ位置



- 原則、被写体から2m以上離れて撮影してください。
- 試合前のイベントや入場セレモニーのコート内の撮影については、試合中継局、配信会社、リーグオフィシャルカメラマン、チーム広報のみ撮影を可能としてください。
- 勝利者インタビューは、対象者から2m以上離れて撮影してください。インタビュアーも身体的距離を保ち、正対を避け、解説席など離れた位置からの対応を推奨してください。また、選手とインタビュアーのマイクは必ず分け、必要に応じて消毒した上で選手に渡してください。

⑤ 試合終了後

- 記者会見を含む監督および選手への取材は、対面では行わずWEB方式で対応することを推奨します。対面で行う場合は、下記の点に留意してください。
 - ✓ 換気の良い広い部屋をインタビュールームに割り当て、監督・選手と報道関係者が少なくとも2m、報道関係者同士が身体的距離（2m、最低でも1m）を保てるようにしてください。アリーナ上で行うことを推奨します。
 - ✓ 監督・選手がインタビュールームへ移動する際に、報道関係者と動線が重ならないよう設定（一時的に通路を封鎖する等も可）してください。監督・選手と報道関係者が異なる出入口を使用

5章 リモートマッチの開催について

することを推奨しますが、難しい場合は全ての報道関係者が入室した後で監督・選手が入場し、会見後は監督・選手が先に退室するよう案内してください。

- ✓ 密が発生することが想定されるエリアでの撮影は自粛してください。
 - ✓ 会見の司会者は、冒頭に参加者に断ったうえで、マスクを着用したまま進行してください。また、参加者にも常にマスクを着用いただくよう周知してください。
 - ✓ 監督・選手と報道関係者の間にアクリルボード等の遮蔽物を配置する場合を除き、監督・選手は会見中もマスクを着用してください。司会者は、監督・選手がマスクを着用し対応する旨を冒頭に参加者に断ってください。
 - ✓ 会見対象の選手数分のマイクを用意し、選手間でマイクを回さないようにすることを推奨します。監督会見と選手会見の間には、マイクを消毒してください。
- 選手や監督、チームスタッフへのぶら下がり取材は禁止とします。（状況に応じて緩和を検討）
 - すべての報道関係者に、最終試合の会見終了後 1 時間以内に会場を退出いただくようにしてください。
 - 報道関係者受付で「確認書」の提出がされた場合は、大会終了後 2 週間はホームチームで保管いただくようお願いします。2 週間の経過後、新型コロナウイルス陽性者の発生が無いことが確認でき次第、適切に破棄（シュレッダーで細断または専門業者に依頼）してください。チェック済みの「取材申請リスト（PDF データでも可）」は V リーグ機構へ送付してください。

5章 リモートマッチの開催について

(5) 報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等のAD申請及び事前申請/入館確認方法

前記を踏まえて、報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等のAD申請及び事前申請/入館確認方法について下記にまとめます。ご対応のほど、お願いいたします。

	AD 種別	事前申請/入館の確認方法	検査実施	入館受付場所
V.TV 中継スタッフ	Vリーグ機構発行 (PARTNER)	関係協力社来場申請 リスト (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
放映権を獲得した 中継局 (全国)	自社発行 (自社ロゴ等)	関係協力社来場申請 リスト (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
放映権を獲得した 中継局 (ローカル)	ホームチーム発行	ホームチームにて管理	任意	関係者受付
リーグオフィシャル カメラマン	Vリーグ機構発行 (OFFICIAL)	派遣通知 (Vリーグ機構より送付)	任意	関係者受付
チーム広報	Vリーグ機構発行 (TEAM PRESS)	関係者サイト 「遠征計画申請」	任意 (チーム管理)	報道関係者受付
公認報道関係者	Vリーグ機構発行 (PRESS)	関係者サイト 「Vリーグ関連フォーマット>9 広報」	任意	報道関係者受付
一般報道関係者	ホームチーム発行	関係者サイト 「取材管理申請」	任意	報道関係者受付

8. 試合会場の設営及び撤去

(1) 設営及び撤去に関わってくださる全事業者に求められる事項

- ① 無理な来場は見合わせてください。次に該当する場合は来場をお控えいただきますようご協力をお願いします。
 - ✓ 体調がよくない場合（37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常など）
 - ✓ 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合
- ② 他者との握手・抱擁・ハイタッチなどの接触は行わないでください
- ③ 身体的距離（2m、最低でも1m）を確保する
- ④ マスク（原則として不織布マスク）を着用する。
- ⑤ 手洗い・手指消毒を適宜行う。

(2) 新型コロナウイルス対策責任者の役割

新型コロナウイルス対策責任者は試合会場の設営・撤去が適切に行われているかチェックしてください。

(3) 試合日以外に設営作業を行う場合

- ① 作業開始前に体温を測定し、37.5度以上の場合(37.5度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも1度以上高いことが明らかな場合も含む)は参加できません。
- ② 予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場状況を管理してください。
 - ✓ 感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。
- ③ 作業に参加される方も入館時に受付を行ってください。
- ④ 全員が利用可能な場所に、手指消毒液を設置してください。
- ⑤ 設営・撤去中は定期的に窓や扉を開けるなど換気を行ってください。

(4) 撤去作業

予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場状況を管理してください。

- ✓ 感染者が発生した場合、直ちに連絡が取れるよう、連絡先を把握しておいてください。


(5) ゴミなどの廃棄について

- ① 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛ってください。
- ② ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用してください。

6章 別紙資料・参考資料

◆ 来場者管理シート

※関係者サイトにアップロードしています



2022-23 V.LEAGUE 来場者管理シート

■ 日程： 年 月 日

No	氏名	所属	受付	備考
例	掛塚 太郎	VJリーグ機構	✓	
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				

■ カテゴリー： 選択してください

No	氏名	所属	受付	備考
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				

■ 会場名： 選択してください

No	氏名	所属	受付	備考
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				

6章 別紙資料・参考資料

◆ 入館受付システム

※マニュアルは関係者サイトにアップロードしています

ログイン画面で
ID・パスワードを入力

「入館受付」を選択

同意事項を確認する

QRコードを読み込む

受付完了

◆ 確認書（入館受付システムが使用できない方向け）

※関係者サイトにアップロードしています



<受付確認欄>
 入館時刻: 時 分

確認書

入館日	年 月 日	会場名	
所属		電話番号	
フリガナ		※本確認書に記載いただいた連絡先情報は、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。ただし、試合会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発生した場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。	
氏名			

試合会場への入館にあたって、下記の内容を確認し、承諾いたします。

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、Vリーグ機構及びホームチームの定めた取り決めに従うこと。
2. 本日から2日以内に感染が疑われる症状が発生した場合には、速やかにホームチーム等に報告すること。
3. 次のいずれかに該当する場合は、入館を見合わせる。
 - 体調がよくない場合（例：37.5℃以上または平熱以上の発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）
 - 陽性診断を受け医療機関等により行動制限を受けている場合（陽性診断前でも検査で陽性判定を受けている場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航があるなどして公的機関より行動制限の要請を受けている場合

以上



◆ チーム入館者リスト

※関係者サイトにアップロードしています



2022-23 V.LEAGUE チーム入館者リスト

選手・チームスタッフは、チームによる管理が及んでいる者として、個別での受付を免除いたします。試合当日に発熱等の体調不良を訴える者がいないことを確認し、本シートをご提出ください。試合後に陽性者や体調不良を訴える者が発生した場合は、速やかにご報告をお願いします。なお、チームと別行動をされるスタッフ等は本シートに記載せず、個別での受付といたしますので、本シートへの記載は不要です。（記載されている場合は二重線で消してください）

入館日		
会場名		
チーム名		
新型コロナウイルス対策責任者		TEL :
申し送り事項		

No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名
1		21		41	
2		22		42	
3		23		43	
4		24		44	
5		25		45	
6		26		46	
7		27		47	
8		28		48	
9		29		49	
10		30		50	
11		31		51	
12		32		52	
13		33		53	
14		34		54	
15		35		55	
16		36		56	
17		37		57	
18		38		58	
19		39		59	
20		40		60	

<受付使用欄>

入館時刻	
退館時刻	



6章 別紙資料・参考資料

◆ 健康チェックシート（自己管理用）

※関係者サイトにアップロードしています

健康チェックシート（自己管理用）

一般社団法人日本バレーボールリーグ機構

- 試合会場への来場にあたっては、日常的に自身の健康状態を確認し、特に来場2週間前からは毎日の検温を実施してください。
- もし気になる症状が現れたときには、速やかにかかりつけ医や受診相談センターへご相談ください。
- 試合会場への入館の際には、「入館受付システム」による受付または「確認書」の提出をお願いします。

平熱				て				行動記録
NO	月日	曜日	起床時体温	体調確認（のどの痛み・咳・倦怠感・頭痛・食欲低下等）		味覚・嗅覚異常		
				なし	あり <small>（ありの場合は具体的に）</small>	なし	あり <small>（ありの場合は具体的に）</small>	
例	6月1日	月	36.5		○ のどの痛み		○	感染者との濃厚接触 海外・県外等への移動 等
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
平均（自動計算⇒）				平熱の参考としてください				



6章 別紙資料・参考資料

◆ 関係協力社来場申請リスト

※関係者サイトにアップロードしています



2022-23 V.LEAGUE 関係協力社 来場申請リスト

- ① 2022-23 V.LEAGUE開催にあたっては新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催いたします。
 - ② 各会場においては、全ての来場者をリスト化し、管理を行います。
 - ③ つきましては、関係協力社の皆さまには、事前に各日程の来場者と、可能な限り到着予定時間を事前にご教示いただきたく存じます。
 - ④ 下記に必要事項をご記入の上、大会開催日の10日前までにVリーグ機構事務局までメールにてお送りください。
(会場ごとに提出をお願いします)
 - ⑤ ファイル名の【】内に対象カテゴリー・性別・大会名の記載をお願いします。
 - ⑥ ファイル名の()内に貴社名の記載をお願いします。
例) 【V1男子堺大会】関係協力社来場者リスト(Vリーグ)
 - ⑦ ファイルはPDF化せず、エクセルのままで送付をお願いします。
 - ⑧ 変更が生じた場合は、ファイル名の頭文字に丸数字をお願いします。変更点は赤字で記載いただけますと幸いです。
例) ②【V1男子堺大会】関係協力社来場者リスト(Vリーグ)
- 【送付先】 league_operation@vleague.or.jp

会社名			
代表者氏名			
代表者連絡先	電話番号：	E-mail:	
カテゴリー	V1男子 ・ V1女子 ・ V2男子 ・ V2女子 ・ V3男子		
会場名			

来場日	No.	来場者氏名	到着予定時間	No.	来場者氏名	到着予定時間
年 月 日 (準備日)	①		:	⑥		:
	②		:	⑦		:
	③		:	⑧		:
	④		:	⑨		:
	⑤		:	⑩		:

来場日	No.	来場者氏名	到着予定時間	No.	来場者氏名	到着予定時間
年 月 日 (試合日)	①		:	⑥		:
	②		:	⑦		:
	③		:	⑧		:
	④		:	⑨		:
	⑤		:	⑩		:

来場日	No.	来場者氏名	到着予定時間	No.	来場者氏名	到着予定時間
年 月 日 (試合日)	①		:	⑥		:
	②		:	⑦		:
	③		:	⑧		:
	④		:	⑨		:
	⑤		:	⑩		:



更新履歴

【初版（2020.08.07 作成）】

【第2版（2020.08.17 更新）】

【第3版（2020.08.25 更新）】

- 調整中としていた「急遽、JVIMS 担当者が不在となった場合」の対応を追記
- 調整中としていた「DAZN 配信時の原則的なカメラ位置」の対応を追記

【第4版（2020.08.28 更新）】

- 運営会議での指摘を受け、「連携医療機関」に関わる記述を修正

【第5版（2020.09.01 更新）】

- 「試合観戦者から発生した際の方針」を加筆

【第6版（2020.10.02 更新）】

- 「非感染検査の受診について」Vリーグ機構が指定する PCR 検査の結果に基づき求められる対応についてを加筆
- 「保健所及び医療機関と連絡が取れないタイミングでの疑い症状への対応について」を追加
- 「内閣官房コロナ室通達に基づく 2020 年 11 月までの収容率緩和に関して」を追加
- 「関係協力社来場者リスト」のフォーマットに関する記述を追加
- 「ボールリトリバーの手袋や消毒液の準備や設置」に関する記述を追加
- 「勝利者インタビューの実施方法に関する記述」を追加
- 報道関係者の「健康チェックシート独自様式を認める」旨の記述を削除
- 「公認報道関係者」の申請期日を「4 日前」から「1 日前」に変更
- 報道関係者のアリーナ退出時間を「試合終了後 1 時間以内」を「会見終了後 1 時間以内」に変更
- 「報道関係者・オフィシャルカメラマン・中継制作等の AD 申請及び事前申請/入館確認方法」についてを追加
- 別紙資料として、「健康チェックシート」、「関係協力社来場申請リスト」、「来場者管理シート」のフォーマットを掲載

【第7版（2020.10.06 更新）】

- 「保健所及び医療機関と連絡が取れないタイミングでの疑い症状への対応について」の濃厚接触疑いの基準を一部修正
- 中継スタッフの健康チェックシートの提出及び内容確認について、「事前に Vリーグ機構が行う」のではなく、「会場入口にて大会スタッフ」が行う旨に修正
- 意図が正しく伝わる様、表現の加筆修正を行った

更新履歴

【第8版（2020.11.12 更新）】

スポーツ庁及び内閣官房コロナ室からの指摘により、内容の大幅改定を行った。

- 「感染リスクが高まる環境・状況」について代表的な事例を更新した
- 「社会的距離（ソーシャルディスタンス）」を「身体的距離（フィジカルディスタンス）」との表現に変更
- また身体的距離を「2m(最低 1 m)」という表現で統一
- 体調不良者の閾値について、従来、体温が 37.5 度以上としてきたが、これに「37.5 度未満の場合でも明らかな発熱症状を本人が自覚している場合や、平熱よりも 1 度以上高いことが明らかな場合も含む」旨を加筆
- チームの宿泊時の食事会場での予防策について「食事中も可能な限りマスクを着用する」旨を加筆
- Vリーグ機構メディカル委員会の決定を受け、PCR 検査実施後の対応について修正
- お客様 1 人当たりのチケット購入枚数の上限を「1 枚」→「5 枚」に変更を行った。その際の注意事項を備考欄に加筆した。
- 「席種ごとに入場・退場可能時間を変更すること等により待機列の解消に努める」旨を従来の推奨事項から必須事項に変更した。
- 「2020 年 11 月までの収容率暫定緩和措置」を受けるための留意事項を修正した。
- 暫定緩和措置を受けた際の席割案を一部、変更した。
- 会場運営について「密集が発生しやすい場所は待機位置をマークする等、特に注意する」旨、「マスクを着用しないお客様には着用を促す」旨を追記
- アリーナへの入場するお客様に、接触確認アプリの利用促進についての文言を追記
- お客様のスタンドでの飲食について、ガイドラインに反するお客様に対しては注意を行う旨と、お客様の手指消毒マスク着用などを促すアナウンスを行う旨を加筆。
- お客様向け新型コロナウイルス対策案内を行うVリーグ機構のホームページ URL を掲載
- 応援スタイルについて、ガイドライン違反者に対して個別注意を行う旨を加筆
- ガイドライン遵守の旨の公表について加筆
- 第 4 章に「⑩大会前後の行動管理について」の項目を加筆

【第9版（2021.02.09 更新）】

スポーツ庁及び内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室の指摘により内容の大幅改定を行った。

- 「感染リスクが高まる 5 つの場面」を更新した
- 2021 年 1 月 7 日の緊急事態宣言の発令に伴う今後の大会開催方針を加筆した
- 施設の空調について「乾燥する場面では、湿度 40%以上を目安に加筆することを推奨する」旨と、「二酸化炭素濃度 1000ppm 以下を維持することが望ましい」旨を追記
- マスク・手袋着用後の手洗いの実施についての文言を追記
- ユニフォーム及び衣類の洗濯についてを追記
- ゴミなどの廃棄に関する文言を追記
- 新型コロナウイルス対策に関する規程第 10 条の改定に伴い、規程改定部分を修正
- 「入場制限付き開催の考え方」について、未回収避不可の会場は集客人数のさらなる制限の検討を求める旨の文言を追記

更新履歴

- 2020年11月末までの入場者制限の例外適用について2021年2月末まで延長になった旨を追記
- COCOAの使用に関して、携帯電話使用制限下での使用上の注意について追記
- お客様のアリーナでの過度な飲酒を控えるよう案内する旨を追記
- お客様の飲食に関する例外対応を掲載
- 非接触決済の導入についての文言を掲載

【第10版（2021.07.28更新）】

2021-22シーズンに向け、チケット販売に関する内容のみ先んじて改定を行った。

- 2021-22 V.LEAGUEにおける観客席設置ルールを追記
- 観客席設置ルールの変更に伴い、ウォームアップエリアの設置基準を変更
- チケット販売の考え方のうち「チケットは1興行ごとに販売すること」「シーズンチケットは販売しないこと」を必須事項から推奨事項に変更した

【第11版（2021.09.10更新）】

2021-22シーズンに向け、大幅な内容の見直しを行った。以下に主な改定ポイントを記載。

- 接触感染のリスクを精査し、過度な環境表面の消毒よりも「正しいマスクの正しい着用」と「適切な手指衛生」による感染対策を強化
- デルタ変異株の感染拡大状況を考慮し、濃厚接触の定義を見直した
- 検査体制の変更および試合直前に疑い症状が発生した場合の対応の変更

【第12版（2021.10.04更新）】

- 新型コロナウイルス対策に関する規程の改定に伴う内容の更新（3章-5）
- チーム関係者のバス移動に関して、「大声や長時間の会話を控える」旨を追記（3章-1）
- イベント開催制限に関する参考資料の差し替え（2章）

【第13版（2021.12.15更新）】

- 大会の開催方針に関する記載内容の変更とイベントの開催制限に関する政府通達の反映（2章-3）
- 試合直前のタイミングで発生した疑い症状等への対応の変更（3章-6）
- 収容率上限の変更とこれに伴うチケット販売の考え方の更新（4章-1、4章-2）
- 応援において容認される行為と禁止される行為の変更（4章-4、4章-7）

【第14版（2022.03.03更新）】

- オミクロン株に関する情報の追記（1章-3、3章-4、3章-6）
- イベントの開催制限に関する政府方針の最新情報の反映（2章、4章-1）
- 新型コロナウイルス対策に関する規程の改定に伴う内容の更新（3章-5、3章-7）
- 試合直前のタイミングで発生した疑い症状等への対応と臨時検査の再定義（3章-6）
- ボールリトリバーの配置に関する図の修正（4章-6、5章-5）

【第 15 版（2022.10.20 更新）】

2022-23 シーズンに向け、全般的な内容の見直しを行った。以下に主な改定ポイントを記載。

- 新型コロナウイルスの基本的な情報の整理（1 章）
- イベントの開催制限に関する政府方針の最新情報の反映（2 章、4 章-1）
- 新型コロナウイルス対策に関する規程の改定に伴う内容の更新（3 章）
- 有事の際の対応及び疑い症状などへの対応の内容整理（3 章-4、3 章-5）
- 自由席の設定等のチケット販売における考え方の変更（4 章-2）
- 関係者の来場管理の変更（4 章-3）
- マスコットのグリーティング及びキッズエスコートの実施に関するルール変更（4 章-4）
- 応援において容認される行為と禁止される行為の変更（4 章-4、4 章-7）
- クイックモッパーの配置の再開（4 章-6、5 章-5）
- 各種書式の更新（6 章）

【第 16 版（2023.2.15 更新）】

政府方針の変更および感染状況を考慮し、全体的な内容の見直しを行った。以下に主な改定ポイントを記載。

- イベントの開催制限に関する政府方針の最新情報の反映（2 章、4 章-1）
- 手指衛生の意義の明確化と消毒を行う内容の見直し（3 章-1）
- チケット購入者情報の把握を任意とするなど、チケット販売における考え方の変更（4 章-2）
- 入場時の検温は任意とし、ホームチームが実施の有無を判断することに変更（4 章-4）
- 声出し応援に関する記載を追加（4 章-4）
- 基本的な感染対策を行うことを前提に、イベント・ファンサービスの実施に関する制限の緩和（4 章-4、4 章-7）
- 試合に出場する選手・チームスタッフのマスク着用に関する規定の変更（4 章-6、5 章-5）

【第 17 版（2023.3.8 更新）】

- マスク着用の考え方を見直し等を踏まえて、マスクの着用に関する記載内容を変更した。Vリーグとしては、2023 年 3 月 13 日以降も会場内でのマスク着用を求めていくこととする。（4 章-3、4 章-4、4 章-5、4 章-7、5 章-2、5 章-3、5 章-4）